２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	生命倫理・動物福祉 （Bioethics・Animal welfare）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	本村　直子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日1時限or金曜日2時限

【授業の学習内容】

動物福祉（アニマルウェルフェア）への具体的な取り組みが世界中で進む中、日本においても動物福祉に対する知識と理解が必要とされている。
この授業では動物福祉を理解する上で必要とされる、人と動物との関わり、日本と海外との動物観の違い、愛護と福祉の違いなども学ぶ。

※担当教員実務経験：犬の飼育環境やコミュニケーションの方法等、飼い主と愛犬の暮らしをサポートするコンパニオンアニマル・アドバイザー。
飼い主とその愛犬の暮らしをより豊かなものにする為のカウンセリングやマナースクール、セミナーを開催。

【到達目標】

文化や生活様式、宗教や時代背景による動物観の違いを理解している。
自分自身のもつ動物観を認識している。
「動物の幸せとは？（動物福祉）」を意識して動物と接することができる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容とすすめ方について説明、自己紹介
2回目	人と動物との関わり（飼育動物と野生動物との関わりを理解する）
3回目	人と動物との関わり（展示動物の福祉を理解する）
4回目	人と動物の関わり（産業動物の福祉を理解する）
5回目	人と動物の関わり（伴侶動物、実験動物の福祉を理解する）
6回目	日本人と動物との関わり（日本人と家畜の関わりを理解する）
7回目	日本人と動物との関わり（宗教の影響を理解する）
8回目	日本人と動物との関わり（宗教の影響を理解する）
9回目	日本人と動物との関わり（日本の動物観の歴史を理解する）
10回目	日本人と動物との関わり（明治以降の動物観を理解する）
11回目	西洋人と動物との関わり（「キリスト教」の動物観を理解する）
12回目	西洋人と動物との関わり（西洋の動物虐待の背景を理解する）
13回目	西洋人と動物との関わり（虐待から保護へとどう変わっていったかを理解する）
14回目	評価試験および振り返り
15回目	動物福祉（アニマルウェルフェア）とは？（動物福祉を正しく理解する）
準備学習 時間外学習	・「自分自身がどういった動物に支えられて生活しているのか？」や「動物の幸せとは？」について自分の明確な考えをまとめておくこと。 ・愛玩動物看護師の教科書(基礎動物学)の「生命倫理・動物福祉」を参考にして自主学習すること。
評価方法	筆記試験で100%評価

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第1巻(緑書房)、獣医倫理・動物福祉学（緑書房）、アニマルウェルフェアとは何か？（岩波ブックレット）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物形態機能学 （ Physiology and Anatomy of Animals ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	久保田　武
		授業形態	講義	総時間 （単位）	60 （４）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3時限／水曜日2時限or月曜日1時限／水曜日3時限

【授業の学習内容】

動物の看護を行うためには、対象動物の体の正常な構造と各器官が担う役割を理解し、専門職として知っておくべき名称・語句を適切に使用する必要がある。
この授業では検査や疾病を学ぶ上での基盤となる知識を身につけていく。

※担当教員実務経験：獣医師。佐賀県内の動物病院勤務。

【到達目標】

主に犬猫を中心に、筋骨格系・呼吸器系・消化器系・循環器系・泌尿器系・内分泌系・神経系・感覚器系の機能を理解し、解剖学用語を用いながら説明できる。

授業計画・内容	
1回目	生命の姿（1）：体の基本構造、細胞の構造、DNAのはたらきについて理解できる。
2回目	生命の姿（2）：体を構成している組織および体腔について理解できる。
3回目	循環器とその調節（1）：心臓の構造とそのはたらきについて理解できる。
4回目	循環器とその調節（2）：血管系およびリンパ系の構造とそのはたらきについて、血圧調節機構と胎子循環について理解できる。
5回目	呼吸器とその調節（1）：呼吸器の構造、換気の仕組みについて理解することができる。
6回目	復習
7回目	消化器と栄養代謝（1）：消化管（口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸）、唾液腺、膵臓、肝臓の構造と機能について理解することができる。
8回目	消化器と栄養代謝（2）：消化と吸収の仕組み、各種栄養素（糖質、タンパク質、脂質）について理解することができる。
9回目	内分泌とホルモン（1）：内分泌の定義、ホルモンの性質、機能、生成、分泌、フィードバック調節について理解することができる。
10回目	内分泌とホルモン（2）：主な内分泌臓器の構造と機能、主なホルモンの作用と標的器官について理解することができる。
11回目	泌尿器と体液調節（1）：クリアランスの意味を知り、腎血漿流量と糸球体濾過量の調節機構について理解することができる。
12回目	泌尿器と体液調節（2）：尿細管における再吸収と分泌、集合管における尿濃縮、電解質バランス、酸・塩基平衡について理解することができる。
13回目	総復習
14回目	評価試験および振り返り
15回目	評価試験返却・解説・まとめ
準備学習 時間外学習	予習：教科書を読んできてください(ページは事前に指示します) 復習：配布資料 授業の初めに前回の内容の小テストを行います。
評価方法	期末テスト(70%)＋小テスト(20%)＋出席(10%)で総合的に評価

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第1巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物形態機能学 （ Physiology and Anatomy of Animals ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	久保田　武
		授業形態	講義	総時間 （単位）	60 （４）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3時限／水曜日2時限or月曜日1時限／水曜日3時限

【授業の学習内容】

動物の看護を行うためには、対象動物の体の正常な構造と各器官が担う役割を理解し、専門職として知っておくべき名称・語句を適切に使用する必要がある。
この授業では検査や疾病を学ぶ上での基盤となる知識を身につけていく。

※担当教員実務経験：獣医師。佐賀県内の動物病院勤務。

【到達目標】

主に犬猫を中心に、筋骨格系・呼吸器系・消化器系・循環器系・泌尿器系・内分泌系・神経系・感覚器系の機能を理解し、解剖学用語を用いながら説明できる。

授業計画・内容	
1回目	脳と神経（1）：ニューロンの構成と活動電位について理解することができる。
2回目	脳と神経（2）：脳の構造と機能について理解することができる。
3回目	脳と神経（3）：脊髄の構造と機能について理解することができる。
4回目	脳と神経（4）：体性神経の構成と機能、自律神経の構成と機能について理解することができる。
5回目	運動器（1）：骨格の構成、骨の形状と構造について理解することができる。
6回目	運動器（2）：関節の構造と働き、骨格筋の構造と収縮機構について理解することができる。
7回目	復習
8回目	血液と造血器（1）：血球成分と血漿成分について理解することができる。
9回目	血液と造血器（2）：赤血球・白血球の構造と機能、について理解することができる。
10回目	血液と造血器（3）：血小板機能と血液凝固機構及び線維素溶解について理解することができる。
11回目	皮膚と感覚器（1）：皮膚の構造と機能、付属器官について理解することができる。
12回目	皮膚と感覚器（2）：体性感覚（皮膚感覚）について理解することができる。
13回目	総復習
14回目	評価試験および振り返り
15回目	評価試験返却・解説・まとめ
準備学習 時間外学習	予習：教科書を読んできてください(ページは事前に指示します) 復習：配布資料と教科書 授業の初めに前回の内容の小テストを行います。
評価方法	期末テスト(70%)＋小テスト(20%)＋出席(10%)で総合的に評価

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第1巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	動物行動学（Animal Behaviour Science）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	福島　みゆき/森　竜一
		授業形態	講義	総時間（単位）	30（２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日2時限or月曜日4時限

【授業の学習内容】

動物行動学の基本から、発達・学習理論の基本までをしっかり理解する。問題を抱える動物を獣医師とトレーナーとの協働で行動治療という選択肢があること、また問題をかかえる以前に動物看護師として病院でできる予防の方法があることを理解する。

※担当教員実務経験：2005年より犬の保育園・しつけ方教室PositiveWindを経営し、「正の強化」の方法でのおだやかな犬育ての経験多数。
福岡県内各保健所での犬しつけ講師、愛玩動物飼養管理士スクーリング講師、下関動物愛護センター犬のしつけ講師、
環境省や福岡県獣医師会からの依頼講師など、多岐にわたり講師活動を行う。

【到達目標】

動物行動学・学習理論の基本、用語の理解。愛玩動物看護師の国家試験対策にむけての知識の習得。動物病院で就業したときに、動物の行動を中立に観察し、問題行動に発展しそうな動物の特性を発見したときに、どういう配慮がその動物に適しているのか考える能力をまずは身につける。

授業計画・内容	
1回目	動物行動学の基礎・生得的行動と習得的行動
2回目	生得的行動・・個体維持行動・発達過程
3回目	生得的行動・・社会行動（犬と猫のコミュニケーション行動）
4回目	習得的行動・・学習理論・古典的条件づけ
5回目	習得的行動・・学習理論・オペラント条件づけ
6回目	トレーニング理論・・行動形成
7回目	後期中間試験　および振り返り
8回目	問題行動①　問題行動の定義と要因　攻撃行動について
9回目	問題行動②　恐怖・不安について　不適切な排泄について　高齢性認知機能不全について
10回目	行動治療①　行動治療の進め方について　行動修正法と環境修正法について
11回目	行動治療②　行動修正法と環境修正法の種類と適応　薬事療法について
12回目	問題行動を予防するために飼い主に指導できること①パピーコースのご提案
13回目	国家テスト対策
14回目	後期期末テスト　振り返り
15回目	問題行動を予防するために飼い主に指導すべきこと②パピーコースの実演
準備学習 時間外学習	愛玩動物看護師の教科書第2巻（緑書房）　動物行動学P13～P84　や他参考文献を事前に読むこと。
評価方法	定期テストにて知識・技術の到達評価を行う。 ●中間テスト（テスト点結果の評価ポイントを、点数の30%とする） ●期末テスト（テスト点数結果の評価ポイントを、50%とする） ●授業姿勢評価（最高20ポイントとする） 全ポイント合計を評価ポイントとする。

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第2巻（緑書房）
「ドッグトレーナーに必要な子犬レッスンテクニック」ヴィベケ・リーセ著　（誠文堂新光社）
「学習の心理」実森正子中島定彦共著　（サイエンス社）　、「実験心理学」大山正編著　（サイエンス社）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物栄養学 （Animal Nutrition）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	比嘉　恵子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日2時限or火曜日3時限

【授業の学習内容】

・動物を健康で長生きさせるために、日々の食餌管理は大切。
・食餌管理のために、栄養の基礎として各種栄養素を理解する。
・栄養素の役割だけでなく、摂取、代謝、排泄に関する理解を得る。
・健康状態の良い時はもちろん、悪い時（疾病時）も適切な食餌を選択する。

※担当教員実務経験：動物看護師統一認定機構 認定動物看護師。関西動物看護教育研究会理事。
動物病院で動物看護師として従事。

【到達目標】

・自分が世話する動物に、適切な食餌管理ができる（実践）。
・飼い主に動物の健康状態に合わせた、適切な食餌管理の指導ができる。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション
2回目	栄養素：蛋白質の分類と働き　必須アミノ酸　過剰症と欠乏症
3回目	栄養素：糖質の分類と働き　単糖類と多糖類　過剰症と欠乏症
4回目	栄養素：脂質の分類と働き　脂肪酸について　過剰症と欠乏症
5回目	栄養素：水溶性ビタミンの種類と働き　過剰症と欠乏症
6回目	栄養素：脂溶性ビタミンの種類と働き　過剰症と欠乏症
7回目	中間評価および振り返り
8回目	栄養素：主要ミネラルの種類と働き　過剰症と欠乏症
9回目	栄養素：微量ミネラルの種類と働き　過剰症と欠乏症
10回目	栄養素：水の働き　水分補給の注意点　脱水
11回目	給餌法の基礎：給餌法　給餌回数
12回目	給餌法の基礎：自家製ペットフードの短所と長所　栄養素バランス　カロリー計算
13回目	給餌法の基礎：市販のペットフードの種類
14回目	期末評価および振り返り
15回目	前期復習
準備学習 時間外学習	・自家製ペットフードなどは、簡単な調理ができること。
評価方法	※栄養学の知識の評価は筆記テストで、飼い主への指導は課題で評価。 ・出席、平常点（15%） ・筆記テスト：中間テスト（35%） ・課題の提出：期末テスト（50%）

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第2巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物栄養学 （Animal Nutrition）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	比嘉　恵子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日2時限or火曜日3時限

【授業の学習内容】

・動物を健康で長生きさせるために、日々の食餌管理は大切。
・食餌管理のために、栄養の基礎として各種栄養素を理解する。
・栄養素の役割だけでなく、摂取、代謝、排泄に関する理解を得る。
・健康状態の良い時はもちろん、悪い時（疾病時）も適切な食餌を選択する。

※担当教員実務経験：動物看護師統一認定機構 認定動物看護師。関西動物看護教育研究会理事。
動物病院で動物看護師として従事。

【到達目標】

・自分が世話する動物に、適切な食餌管理ができる（実践）。
・飼い主に動物の健康状態に合わせた、適切な食餌管理の指導ができる。

授業計画・内容	
1回目	給餌法：命に関わる食品
2回目	給餌法：栄養障害を起こす食品
3回目	給餌法：消化の悪い食品　アレルギー
4回目	成長段階別の給餌法：成長期
5回目	成長段階別の給餌法：妊娠・育児期
6回目	成長段階別の給餌法：老齢期
7回目	中間評価および振り返り
8回目	食餌療法：消化器疾患
9回目	食餌療法：心疾患
10回目	食餌療法：腎疾患
11回目	食餌療法：肥満症
12回目	食餌療法：糖尿病
13回目	食餌療法：アレルギー
14回目	期末評価および振り返り
15回目	総復習
準備学習 時間外学習	・食餌療法では、個々の疾病の基礎知識が必要。
評価方法	※栄養学の知識の評価は筆記テストで、飼い主への指導は課題で評価。 ・出席、平常点（15%） ・筆記テスト：中間テスト（35%） ・課題の提出：期末テスト（50%）

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第2巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物看護学概論 （Veterinary Nursing）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	森若　賢子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日2時限or月曜日4時限

【授業の学習内容】

動物看護師は人道的な配慮だけでなく動物看護師ならではの倫理観をもって看護対象に臨む必要がある。
この科目では獣医療の歴史からみる動物看護師の役割を学び、専門職としての職業意識を形成する。

※担当教員実務経験：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務後、動物看護師育成に携わる。

【到達目標】

動物看護師が社会に必要とされる理由を説明できる。
動物病院での動物看護師の業務内容を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション
2回目	看護の定義
3回目	獣医療の変遷
4回目	動物看護師の業務
5回目	動物医療におけるQOL
6回目	獣医療倫理
7回目	愛玩動物看護者の倫理綱領
8回目	愛玩動物看護者の倫理綱領
9回目	愛玩動物看護者の倫理綱領
10回目	愛玩動物看護者の倫理綱領
11回目	愛玩動物看護者の倫理綱領
12回目	愛玩動物看護者の倫理綱領
13回目	愛玩動物看護者の倫理綱領
14回目	期末評価および振り返り
15回目	海外の資格制度
準備学習 時間外学習	テキスト該当ページを熟読のうえ授業に臨むこと
評価方法	筆記試験70% 出席状況30%

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第3巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物感染症学 （Animal Infectious Diseases）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	木道　浩子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日3時限or金曜日4時限

【授業の学習内容】

動物の健康を促進し維持するためには、対象となる動物の感染症について理解する必要がある。
この科目では予防と看護に活かすために、主に犬猫に感染する内部寄生虫・外部寄生虫・微生物について学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師免許取得後、関東地区の動物病院に所属。平成元年4月よりきどう動物病院にて動物診療補佐に従事。

【到達目標】

犬猫に寄生する主な寄生虫のライフサイクルと予防について説明できる。
犬猫に感染する主な微生物の感染経路と予防法について説明できる。
犬猫のワクチンで予防できる疾患とその症状・伝播様式を説明できる。
犬猫のワクチネーションプログラムについて説明できる。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション
2回目	微生物の分類と特徴（細菌）
3回目	微生物の分類と特徴（ウイルス）
4回目	微生物の分類と特徴（真菌、その他）
5回目	感染症の成立要因
6回目	病原体の感染経路
7回目	宿主の感受性と免疫
8回目	免疫のしくみ
9回目	免疫不全とは
10回目	アレルギー
11回目	自己免疫疾患
12回目	感染症の制御とワクチン
13回目	ワクチン接種プログラムと副反応
14回目	前期評価試験及び振り返り
15回目	前期まとめ
準備学習 時間外学習	授業後に次回授業に該当するテキストのページを告知します。予習の上授業に参加してください。 また、小テストに向けて復習をしておくこと。
評価方法	小テスト(20%) 筆記試験(80%)

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書　第3巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物感染症学 （Animal Infectious Diseases）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	木道　浩子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	60 （４）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日3時限/金曜日3時限or水曜日4時限/金曜日4時限

【授業の学習内容】

動物の健康を促進し維持するためには、対象となる動物の感染症について理解する必要がある。この科目では予防と看護に活かすために、
主に犬猫に感染する内部寄生虫・外部寄生虫・微生物について学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師免許取得後、関東地区の動物病院に所属。平成元年4月よりきどう動物病院にて動物診療補佐に従事。

【到達目標】

犬猫に寄生する主な寄生虫のライフサイクルと予防について説明できる。
犬猫に感染する主な微生物の感染経路と予防法について説明できる。
犬猫のワクチンで予防できる疾患とその症状・伝播様式を説明できる。
犬猫のワクチネーションプログラムについて説明できる。

授業計画・内容	
1回目	代表的な感染症（犬の主なウイルス疾患）
2回目	代表的な感染症（猫の主なウイルス疾患）
3回目	代表的な感染症（細菌感染①）
4回目	代表的な感染症（細菌感染②）
5回目	代表的な感染症（真菌感染）
6回目	寄生虫の形態や分類
7回目	主な内部寄生虫（線虫類）
8回目	主な内部寄生虫（原虫類）
9回目	主な内部寄生虫（条虫類、吸虫類）
10回目	主な外部寄生虫（ダニ類）
11回目	主な外部寄生虫（昆虫類）
12回目	消毒法と滅菌法
13回目	院内感染の予防
14回目	後期評価試験及び振り返り
15回目	後期まとめ
準備学習 時間外学習	授業後に次回授業に該当するテキストのページを告知します。予習の上授業に参加してください。 また、小テストに向けて復習をしておくこと。
評価方法	小テスト(20%) 筆記試験(80%)

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書　第3巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物内科看護学 （Animal Internal Medicine for Veterinary Nurses）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井上　奈津
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限or火曜日3時限or木曜日1時限or木曜日3時限

【授業の学習内容】

傷病動物の看護を行うには対象となる動物の状態を正確に把握するための観察力が求められる。また、診療補助を行う際には動物を適切に保定するとともに医療機器を適切に取り扱わなければならない。この科目では、内科診療補助で必要となる観察力や看護法に関わる基本的な知識と手技を身に付ける。

※担当教員実務経験：動物看護師統一認定機構認定動物看護師。福岡県内の動物病院にて通算6年勤務後、動物専門臨床検査センターにて通算4年勤務。
ドッグマッサージ事業を展開している。日本アニマルマッサージ協会会員。

【到達目標】

1.健康診断の内容と目的について理解する。
2.診療補助に必要な技術を身につける。
（①診察における愛玩動物看護師の役割について理解する。②診察室の準備と衛生管理について理解し、管理ができる。③動物種ごとの適切な接し方について理解する。④保定の基本的な原理・目的・方法について理解し、実施できる。⑤身体検査アセスメント項目（体重・体温・心拍・呼吸・意識レベル・粘膜色・股動脈圧・毛細血管再充満時間・浅在リンパ節）について理解し、評価できる。⑥聴診器や体温計を適切に取り扱うことができる。）
3.投薬に関わる技術について身につける。（①薬の処方について理解する。②内服薬の使用法について理解する。③薬剤の投与方法について理解する。④外用薬の使用法・薬浴の実施法について理解する。⑤投薬前後の注意事項について理解する。⑥各薬剤の投与手順を理解し、準備及び補助ができる。）

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション/愛玩動物看護師の役割/診察の準備・清掃/動物との基本的な接し方
2回目	健康診断の意義/全身状態の把握
3回目	バイタルサインの評価
4回目	各器官系の評価
5回目	保定：基本姿勢
6回目	保定：採血時の保定
7回目	中間評価および振り返り
8回目	保定：猫の保定
9回目	投薬：薬剤の形状/投薬方法（内服・外用・薬浴・注射薬）
10回目	投薬法：薬剤の取り扱いおよび管理/処方/投薬（経口・点眼・点耳）
11回目	投薬法：調剤および分包/薬用量の計算（錠剤）/分包機の扱い
12回目	投薬法：調剤および分包/薬用量の計算（粉剤）/分包機の扱い
13回目	投薬法：投薬に関する知識の復習
14回目	前期末評価および振り返り
15回目	前期復習
準備学習 時間外学習	犬猫の行動学・骨格系の予習。各授業の復習。課題による自習。
評価方法	前期末評価にて筆記試験(70%)および実技試験(30%)の実施。 ※評価は動物内科看護学と合わせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第4巻（緑書房）、動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）、動物看護コアテキスト第3版4巻（ファームプレス）、
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻（エデュワードプレス）、コンパス調剤学（南江堂）、動物看護師統一試験完全対策問題集（エデュワードプレス）、
動物看護士統一認定試験完全攻略！問題＆解説集（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物内科看護学 （Animal Internal Medicine for Veterinary Nurses）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井上　奈津
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限or火曜日3時限or木曜日1時限or木曜日3時限

【授業の学習内容】

傷病動物の看護を行うには対象となる動物の状態を正確に把握するための観察力が求められる。また、診療補助を行う際には動物を適切に保定するとともに医療機器を適切に取り扱わなければならない。この科目では、内科診療補助で必要となる観察力や看護法に関わる基本的な知識と手技を身に付ける。

※担当教員実務経験：動物看護師統一認定機構認定動物看護師。福岡県内の動物病院にて通算6年勤務後、動物専門臨床検査センターにて通算4年勤務。
ドッグマッサージ事業を展開している。日本アニマルマッサージ協会会員。

【到達目標】

1.薬剤の注射方法を身につけ、手順を理解できている。
2..検査処置に必要な技術を身につける。（①注射器の取り扱いおよび管理方法を理解し、実施できる。②採血の目的および手技手順を理解・習得できている。③採尿の目的および手技手順を理解・習得できている。④穿刺および吸引について理解する。⑤各種カテーテル挿入について理解する。⑥酸素吸入について理解する。⑦マイクロチップの挿入について理解し、装着手順を習得できている。）
3.輸液に関わる技術を身につける（①輸液の適応およびリスクについて理解する。②輸液計画について理解する。③各種輸液剤の特性や適応について理解する。④輸液中のモニタリングについて理解し管理できる。⑤留置針設置の手順を習得し、準備及び補助ができる。⑥輸液ポンプおよびシリンジポンプが使用できる。）
4.輸血に関わる技術を身につける（①輸血の適応およびリスクについて理解する②輸血計画について理解する③クロスマッチ試験および血液型について理解する。④各種輸液製剤の適応や特性を理解する。⑤輸血に関わる手技について理解する。⑥輸血による副反応について理解する。⑦輸血中の動物を管理できる）

授業計画・内容	
1回目	注射器および針の種類/扱い/バイアルおよびアンプルの取り扱い
2回目	注射による薬剤投与手順/採血手順
3回目	採尿方法および手技/穿刺および吸引/マイクロチップの挿入
4回目	各種カテーテルの挿入/酸素吸入/血管確保
5回目	輸液の投与経路/自然滴下での輸液/ライン作成
6回目	輸液計画/輸液量および速度計算
7回目	中間評価および振り返り
8回目	輸液ポンプ接続設定/エラー管理
9回目	輸液の基礎知識
10回目	輸液製剤の種類
11回目	三方活栓およびシリンジポンプ接続設定/輸液中の看護
12回目	輸血に関わる技術
13回目	輸液に関する知識の復習
14回目	後期末評価および振り返り
15回目	総復習
準備学習 時間外学習	教科書による予習。各授業の復習。課題による自習。
評価方法	前期末評価にて筆記試験(70%)および実技試験(30%)の実施。 ※評価は動物内科看護学と合わせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第4巻（緑書房）、動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）、動物看護コアテキスト第3版4巻（ファームプレス）、
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻（エデュワードプレス）、コンパス調剤学（南江堂）、動物看護師統一試験完全対策問題集（エデュワードプレス）、
動物看護士統一認定試験完全攻略！問題＆解説集（緑書房）、犬と猫の輸液療法（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	愛玩動物学（犬学） （Pet Animal Studies）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	坂本　憲生
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日3時限or水曜日4時限

【授業の学習内容】

動物病院では多くの犬に接していく。そのため、犬の看護や飼育者へのアドバイスを行うにはその基本的行動様式を理解しておく必要がある。
この科目では犬の起源や生態を知り習性の理解につなげていくために学ぶ。
また、実際に経験したことがあれば教科書の内容に加味して進めていく。
（授業内容の関連性の都合で、動物行動学（犬）の内容を織り交ぜながら進めていく。）

※担当教員実務経験：動物施設でキーパーとして従事したのち、ドッグトレーナーに従事。

【到達目標】

犬の発生起源と生態・歴史を説明できる。
犬の成長発達段階における特徴を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	1章①犬の祖先（P16）～⑧血統と血統書について理解する（P32～35）
2回目	ビデオ・感想文
3回目	2章①身体障害者補助犬（P36～38）～②その他の使役犬（P39～41）
4回目	3章①犬の適切な飼養管理法（P42）～②飼育上、知っておくべき犬の特徴（P42～44）
5回目	3章③成長に応じた犬の飼養管理方法（P44～）　生まれてくるまでの環境（胎子期）　他
6回目	いたずらされるものは片づける（P47～49）　他
7回目	食事管理（P55～56）　他　　中間テスト
8回目	成熟期（6ヵ月齢ごろ）（P56）　他
9回目	高齢期（P59～63）　他
10回目	4章①動物の安全な散歩・運動・ふれあいの意義（P83～85）
11回目	4章②基本的なグルーミングの目的および方法（P85～）　健康管理　他
12回目	体重管理（P86～87）　他
13回目	ブラッシング（P87～88）　他
14回目	前期評価テストおよび振り返り
15回目	4章③適切な飼養環境やストレスの緩和（P94）
準備学習 時間外学習	該当するテキストのページを熟読のうえ授業に参加すること
評価方法	中間・期末テスト（筆記）・・・中間40%、期末60% ※授業の進行状況により中間テストが実施できなかった場合は期末テストのみでの評価とする

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第6巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	愛玩動物学（猫学） （Pet Animal Studies）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石本　美樹
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日2時限or月曜日3時限

【授業の学習内容】

猫は犬と同じように人にとって身近な動物ではあるが、様々な点で猫特有の性質を持っている。この授業では、猫の歴史・習性を中心に学び、猫という動物について理解し、正しい知識を得ることを目標とする。

※担当教員実務経験：サンフラワーキャットクラブ理事。
アビシニアン、ペルシャのブリーダーを経てペットシッターやキャットトレーナーなど猫と人の豊かな生活を支援する活動を行う。

【到達目標】

犬と猫の習性の違いを説明できる。
ネコの行動特性を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介　講義の進め方　猫の分類
2回目	猫の歴史・進化
3回目	猫のルーツ　・古代エジプト～　・リビアヤネコについて　神格化されたネコと暗黒時代（エジプト～ヨーロッパ）世界への拡大）
4回目	日本ネコのルーツ　（縄文～平安時代～鎌倉時代～江戸時代～現代）　日本のキャットショーの歴史
5回目	ネコの習慣と行動　猫のイメージ　特徴（ツンデレ・なつきにくい・単独→飼い主の存在）
6回目	ネコの狩り・遊びについて
7回目	仔育て（出産育仔中の行動）、排卵、発情
8回目	テリトリー・マーキングについて
9回目	体（平均的な体格と寿命）
10回目	歯の特徴　食べ方について
11回目	目・鼻・耳・被毛について
12回目	運動性・筋肉・骨格について
13回目	品種、コア
14回目	評価試験および振り返り
15回目	品種、コア
準備学習 時間外学習	テキストの該当ページを熟読の上授業に参加すること。
評価方法	筆記試験　85% 授業内評価　15% ※受講態度・あいさつ・積極的な発言を評価

【使用教科書・教材・参考書】

猫の教科書（緑書房）
愛玩動物看護師の教科書 第6巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	愛玩動物学（犬種標準） （Pet Animal Studies）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	間　美加
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日3時限or金曜日4時限

【授業の学習内容】

犬は人との生活の中で様々な用途に合わせ品種改良されてきた。そのため各品種ごとに特徴があり、その特徴を理解したうえで接していく必要がある。
この授業では各品種について、JKC全犬種標準書をもとに学ぶ。

※担当教員実務経験：犬種の特性を活かしたスポーツドッグの育成・トレーニングに従事。
日本フリスビードッグ協会主催のフリスビードッグ日本一を決める大会「ジャパンファイナル」で多くの優勝・入賞経験を持つ。

【到達目標】

JKCにおける10グループ分類と各グループの代表的な犬種を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	犬の歴史、犬の用途（進化、品種改良について）
2回目	JKC犬種図鑑の見方、グループ分けの説明
3回目	第1グループ　シープドッグ代表犬種
4回目	第1グループ　キャトルドッグ
5回目	第2グループ　ピンシャー、シュナウザー、モロシアン
6回目	第2グループ　スイスマウンテンドッグ
7回目	第3グループ～第4グループ　狩猟犬の用途
8回目	第5グループ　日本犬種～その他 スピッツ系
9回目	第6グループ～第7グループ　狩猟犬としての特徴
10回目	第8グループ　レトリーバー
11回目	第10グループ　サイトハウンド人気犬種　紹介
12回目	第9グループ　愛玩犬の歴史、人気犬種の特徴と紹介
13回目	第1～10　おさらい
14回目	テストおよび振り返り
15回目	テスト見返し、非公認犬種の紹介
準備学習 時間外学習	犬種図鑑を参考にグループごとの犬種ノート、レポートにまとめる。
評価方法	筆記試験：80% 授業参加：20%

【使用教科書・教材・参考書】

最新犬種図鑑（EDUWARD Press）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ペット関連産業概論 （Introduction to the pet industry）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	（複数講師によるオムニバス形式）
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （１）	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	集中講義

【授業の学習内容】

ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。

※担当教員実務経験：ペット関連産業に従事する複数講師の方より指導頂く。

【到達目標】

・ペット関連産業における職業倫理を理解できている。
・ペットの飼養実態と市場規模を理解できている。
・動物取扱業制度の概要を理解できている。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション
2回目	動物の愛護および管理に関する法律の概要
3回目	動物取扱業制度
4回目	ペット関連産業の現状と今後
5回目	ペット関連産業の現状と今後
6回目	ペット関連産業の現状と今後
7回目	ペット関連産業の現状と今後
8回目	ペット関連産業の現状と今後
9回目	ペット関連産業の現状と今後
10回目	ペット関連産業の現状と今後
11回目	ペット関連産業の現状と今後
12回目	ペット関連産業の現状と今後
13回目	ペット関連産業の現状と今後
14回目	ペット関連産業の現状と今後
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	事前課題を提示するので、授業までに仕上げておくこと。
評価方法	授業後のレポート提出をもって単位認定を行う

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第6巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	グルーミング概論 （ Introduction to Basic Grooming ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	寺田　光徳
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日2時限or木曜日4時限

【授業の学習内容】

犬の健康維持促進のためには犬自体を清潔に保つ必要がある。この科目では犬のグルーミングを行う目的や効果を理解し、実践する際に共通認識として把握しておくべき用語を学ぶとこを目的とする。

※担当教員実務経験：JKC福岡県クラブ連合会会長、JKC九州ブロックハンドラー委員会常任委員を務め、ドッグショーの審査、及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて
後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。

【到達目標】

グルーミング実習の前に犬体や骨格構造、犬に関する知識、又　グルーミング実習の基礎知識を深く理解して実習に臨む。

授業計画・内容	
1回目	授業の進め方、 グルーミングにあたっての犬との接し方、グルーマースピリッツ
2回目	犬の体と骨格
3回目	犬の体と骨格
4回目	ブリーディング
5回目	メディカルチェック
6回目	犬の飼育方法
7回目	トリミング用具と用途
8回目	器具の消毒と手入れ　犬の保定、拘束、取り扱い方
9回目	被毛の構造　シャンプー、リンス、トリートメントの基礎知識
10回目	小型犬のベイシング
11回目	大型犬のベイシング
12回目	グルーマーの獣医学（プリントJKCドッググルーミング　マニュアルから）
13回目	グルーマーの基本（プリントJKCドッググルーミング　マニュアルから）
14回目	評価試験および振り返り
15回目	グルーマーの基本（プリントJKCドッググルーミング　マニュアルから）　授業振り返り
準備学習 時間外学習	次の授業で行う教材を予習、読み込んでおく事。
評価方法	筆記試験（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

プリントを適宜配布
滋慶教育科学研究所グルーミングテキスト
JKCドッググルーミングマニュアル

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物形態機能学実習 （Animal Physiology and Anatomy Practice）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	久保田　武
		授業形態	実習	総時間（単位）	30 （１）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日2時限or木曜日3時限

【授業の学習内容】

動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師。佐賀県内の動物病院勤務。

【到達目標】

顕微鏡を適切に取り扱い、標本を観察することができる。
代表的な骨の名称と特徴を理解している。
代表的な関節の名称と構造・機能を理解している。
代表的な骨格筋の名称と構造、機能を理解している。
主要な臓器の配置と組織像を理解している。

授業計画・内容	
1回目	全身の骨格と関節を知る（体幹）
2回目	全身の骨格と関節を知る（四肢・関節）
3回目	全身の筋肉を知る（体幹）
4回目	全身の筋肉を知る（四肢）
5回目	主要な臓器の配置
6回目	復習
7回目	顕微鏡の取り扱い
8回目	主要臓器の組織像の観察（消化器）
9回目	主要臓器の組織像の観察（循環器）
10回目	主要臓器の組織像の観察（呼吸器）
11回目	主要臓器の組織像の観察（泌尿生殖器）
12回目	主要臓器の組織像の観察（神経）
13回目	総復習
14回目	後期評価試験及び振り返り
15回目	後期まとめ
準備学習 時間外学習	実習書と教科書を読んできてください。
評価方法	期末テスト(70%)＋提出物(20%)＋出席(10%)で総合的に評価

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護実習テキスト（エデュワードプレス）
愛玩動物看護師の教科書 第1巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	動物内科看護学実習 (Animal Internal Medicine Practice for Veterinary Nurses)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	井上　奈津
		授業形態	実習	総時間（単位）	30 （1）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日2時限or火曜日4時限or木曜日2時限or木曜日4時限

【授業の学習内容】

傷病動物の看護を行うには対象となる動物の状態を正確に把握するための観察力が求められる。また、診療補助を行う際には動物を適切に保定するとともに医療機器を適切に取り扱わなければならない。この科目では、内科診療補助で必要となる観察力や看護法に関わる基本的な知識と手技を身に付ける。

※担当教員実務経験：動物看護師統一認定機構認定動物看護師。福岡県内の動物病院にて通算6年勤務後、動物専門臨床検査センターにて通算4年勤務。
ドッグマッサージ事業を展開している。日本アニマルマッサージ協会会員。

【到達目標】

1.健康診断の内容と目的について理解する。
2.診療補助に必要な技術を身につける。
（①診察における愛玩動物看護師の役割について理解する。②診察室の準備と衛生管理について理解し、管理ができる。③動物種ごとの適切な接し方について理解する。④保定の基本的な原理・目的・方法について理解し、実施できる。⑤身体検査アセスメント項目（体重・体温・心拍・呼吸・意識レベル・粘膜色・股動脈圧・毛細血管再充満時間・浅在リンパ節）について理解し、評価できる。⑥聴診器や体温計を適切に取り扱うことができる。）
3.投薬に関わる技術について身につける。（①薬の処方について理解する。②内服薬の使用法について理解する。③薬剤の投与方法について理解する。④外用薬の使用法・薬浴の実施法について理解する。⑤投薬前後の注意事項について理解する。⑥各薬剤の投与手順を理解し、準備及び補助ができる。）

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション/愛玩動物看護師の役割/診察の準備・清掃/動物との基本的な接し方
2回目	健康診断の意義/全身状態の把握
3回目	バイタルサインの評価
4回目	各器官系の評価
5回目	保定：基本姿勢
6回目	保定：採血時の保定
7回目	中間評価および振り返り
8回目	保定：猫の保定
9回目	投薬：薬剤の形状/投薬方法（内服・外用・薬浴・注射薬）
10回目	投薬法：薬剤の取り扱いおよび管理/処方/投薬（経口・点眼・点耳）
11回目	投薬法：調剤および分包/薬用量の計算（錠剤）/分包機の扱い
12回目	投薬法：調剤および分包/薬用量の計算（粉剤）/分包機の扱い
13回目	投薬法：投薬に関する知識の復習
14回目	前期末評価および振り返り
15回目	前期復習
準備学習 時間外学習	犬猫の行動学・骨格系の予習。各授業の復習。課題による自習。
評価方法	前期末評価にて筆記試験(70%)および実技試験(30%)の実施。 ※評価は動物内科看護学と合わせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第4巻（緑書房）、動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）、動物看護コアテキスト第3版4巻（ファームプレス）、
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻（エデュワードプレス）、コンパス調剤学（南江堂）、動物看護師統一試験完全対策問題集（エデュワードプレス）、
動物看護士統一認定試験完全攻略！問題＆解説集（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物内科看護学実習 (Animal Internal Medicine Practice for Veterinary Nurses)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井上　奈津
		授業形態	実習	総時間 （単位）	30 （１）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日2時限or火曜日4時限or木曜日2時限or木曜日4時限

【授業の学習内容】

傷病動物の看護を行うには対象となる動物の状態を正確に把握するための観察力が求められる。また、診療補助を行う際には動物を適切に保定するとともに医療機器を適切に取り扱わなければならない。この科目では、内科診療補助で必要となる観察力や看護法に関わる基本的な知識と手技を身に付ける。

※担当教員実務経験：動物看護師統一認定機構認定動物看護師。福岡県内の動物病院にて通算6年勤務後、動物専門臨床検査センターにて通算4年勤務。
ドッグマッサージ事業を展開している。日本アニマルマッサージ協会会員。

【到達目標】

1.薬剤の注射方法を身につけ、手順を理解できている。
2..検査処置に必要な技術を身につける。（①注射器の取り扱いおよび管理方法を理解し、実施できる。②採血の目的および手技手順を理解・習得できている。③採尿の目的および手技手順を理解・習得できている。④穿刺および吸引について理解する。⑤各種カテーテル挿入について理解する。⑥酸素吸入について理解する。⑦マイクロチップの挿入について理解し、装着手順を習得できている。）
3.輸液に関わる技術を身につける（①輸液の適応およびリスクについて理解する。②輸液計画について理解する。③各種輸液剤の特性や適応について理解する。④輸液中のモニタリングについて理解し管理できる。⑤留置針設置の手順を習得し、準備及び補助ができる。⑥輸液ポンプおよびシリンジポンプが使用できる。）
4.輸血に関わる技術を身につける（①輸血の適応およびリスクについて理解する②輸血計画について理解する③クロスマッチ試験および血液型について理解する。④各種輸液製剤の適応や特性を理解する。⑤輸血に関わる手技について理解する。⑥輸血による副反応について理解する。⑦輸血中の動物を管理できる）

授業計画・内容	
1回目	注射器および針の種類/扱い/バイアルおよびアンプルの取り扱い
2回目	注射による薬剤投与手順/採血手順
3回目	採尿方法および手技/穿刺および吸引/マイクロチップの挿入
4回目	各種カテーテルの挿入/酸素吸入/血管確保
5回目	輸液の投与経路/自然滴下での輸液/ライン作成
6回目	輸液計画/輸液量および速度計算
7回目	中間評価および振り返り
8回目	輸液ポンプ接続設定/エラー管理
9回目	輸液の基礎知識
10回目	輸液製剤の種類
11回目	三方活栓およびシリンジポンプ接続設定/輸液中の看護
12回目	輸血に関わる技術
13回目	輸液に関する知識の復習
14回目	後期末評価および振り返り
15回目	総復習
準備学習 時間外学習	教科書による予習。各授業の復習。課題による自習。
評価方法	前期末評価にて筆記試験(70%)および実技試験(30%)の実施。 ※評価は動物内科看護学と合わせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第4巻（緑書房）、動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）、動物看護コアテキスト第3版4巻（ファームプレス）、
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻（エデュワードプレス）、コンパス調剤学（南江堂）、動物看護師統一試験完全対策問題集（エデュワードプレス）、
動物看護士統一認定試験完全攻略！問題＆解説集（緑書房）、犬と猫の輸液療法（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物愛護・適正飼養実習 （Animal Welfare and Breeding Practice）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	寺田　光徳
		授業形態	実習	総時間 （単位）	30 （１）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日3･4時限or木曜日1･2時限

【授業の学習内容】

犬の健康維持促進のためには犬自体を清潔に保つ必要がある。この科目では前期に学んだ概論をもとに、生体を用いながらグルーミング技術を身に付ける。

※担当教員実務経験：JKC福岡県クラブ連合会会長、JKC九州ブロックハンドラー委員会常任委員を務め、ドッグショーの審査、及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて
後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。

【到達目標】

犬種・個体に合わせたグルーミングを実践することができる。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション
2回目	グルーミング実習
3回目	グルーミング実習
4回目	グルーミング実習
5回目	グルーミング実習
6回目	グルーミング実習
7回目	グルーミング実習
8回目	グルーミング実習
9回目	グルーミング実習
10回目	グルーミング実習
11回目	グルーミング実習
12回目	グルーミング実習
13回目	グルーミング実習
14回目	グルーミング実習
15回目	グルーミング実習
準備学習 時間外学習	グルーミングマニュアルの復習を行うこと。
評価方法	授業態度　50% 実習技術　50%

【使用教科書・教材・参考書】

グルーミング用品一式

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物愛護・適正飼養実習 （Animal Welfare and Breeding Practice）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	原田　照美
		授業形態	実習	総時間 （単位）	30 （１）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3･4時限or木曜日3･4時限

【授業の学習内容】

犬の健康維持促進のために犬体を清潔に保つ必要がある。生体を用いながらグルーミング技術を身につける。

※担当教員実務経験：JKC公認トリマーB級ライセンス取得。ペットサロン　ピュアドールオーナー。

【到達目標】

犬種・個体に合わせたグルーミングを実践することができる。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション
2回目	犬を用いてデモンストレーション
3回目	グルーミング　小型犬3人1頭
4回目	グルーミング　小型犬3人1頭
5回目	グルーミング　小型犬2人1頭
6回目	グルーミング　小型犬2人1頭
7回目	グルーミング　小型犬2人1頭
8回目	グルーミング　中型犬3人1頭
9回目	グルーミング　中型犬3人1頭
10回目	グルーミング　大型犬4人1頭
11回目	グルーミング　大型犬4人1頭
12回目	グルーミング（小型犬　中型犬　大型犬）
13回目	グルーミング（小型犬　中型犬　大型犬）
14回目	評価試験　グルーミング（小型犬　中型犬　大型犬）
15回目	グルーミング（小型犬　中型犬　大型犬）
準備学習 時間外学習	グルーミングマニュアルの復習を行うこと。
評価方法	・実技評価・・・50点 ・実習態度・・・50点

【使用教科書・教材・参考書】

グルーミング用品一式

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	キャリアプランニング （Career planning）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大木　幸恵/塩田　里美
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日3時限or金曜日2時限

【授業の学習内容】

キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、実践できるようになる。
（学校行事との兼ね合いで授業内容の順序は適宜変更の可能性がある。）

※担当教員
大木幸恵：愛玩動物看護師。動物取扱責任者として全国に展開する総合ペットショップにて従事後、動物看護師育成に携わる。
塩田里美：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務。その後動物実験施設に従事。動物看護師育成に携わる。

【到達目標】

・卒業までの全体的なキャリアプランを説明できる。
・目的を達成するために他者と協力することができる。
・目指す業界の特徴を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション：　3年間のキャリアプランニングを理解する
2回目	学習能力チェック：今後の学習を円滑に進めていくために、現状の学習能力を確認する
3回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
4回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
5回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
6回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
7回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
8回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
9回目	学生生活サポート　成人の自由と責任　消費者被害
10回目	学生生活サポート　自転車のルール
11回目	学生生活サポート　薬物問題
12回目	学生生活サポート　性犯罪
13回目	前期試験に向けて：　試験規定・進級に必要な単位数等を正確に理解する
14回目	前期末試験：　前期に取り組んだ内容の習熟度を振り返る
15回目	後期に向けて：　後期授業について理解する
準備学習 時間外学習	授業内で提示された課題に取り組み、期日までに提出すること。
評価方法	・出席状況（60%） ※100%出席を60点とし、1回欠席ごとに5点減点 ・提出物（40%） ※40点満点とし、提出状況・丁寧さで総合的に評価

【使用教科書・教材・参考書】

授業内容に該当するプリントまたはデータを随時配布

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	キャリアプランニング （Career planning）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大木　幸恵/塩田　里美
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日3時限or金曜日4時限

【授業の学習内容】

キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、実践できるようになる。
（学校行事との兼ね合いで授業内容の順序は適宜変更の可能性がある。）

※担当教員
　大木幸恵：愛玩動物看護師。動物取扱責任者として全国に展開する総合ペットショップにて従事後、動物看護師育成に携わる。
　塩田里美：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務。その後動物実験施設に従事。動物看護師育成に携わる。

【到達目標】

・卒業までの全体的なキャリアプランを説明できる。
・目的を達成するために他者と協力することができる。
・目指す業界の特徴を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
2回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
3回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
4回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
5回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
6回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
7回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
8回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
9回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
10回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
11回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
12回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
13回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
14回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
15回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
準備学習 時間外学習	授業内で提示された課題に取り組み、期日までに提出すること。
評価方法	・出席状況（60%） 　※100%出席を60点とし、1回欠席ごとに5点減点 ・提出物（40%） 　※40点満点とし、提出状況・丁寧さで総合的に評価

【使用教科書・教材・参考書】

授業内容に該当するプリントまたはデータを随時配布

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	コンピュータ演習 （Computer Skills Practice）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	千葉　恵一/井口　恵美里
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日4時限or水曜日1時限or水曜日4時限or木曜日1時限

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく。
前期は「Word」を使い「レポート」や「写真を貼った文章」が作れるように勉強していく。また、安全にインターネットを利用できるように「ITリテラシー」も勉強する。
前期・後期をまたぎ「PowerPoint」でスライド作成の勉強をする。
基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※担当教員：長年滋慶学園各校でコンピュータ授業を担当。

【到達目標】

教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる。
Wordを使ってレポート作成が出来るようになる。
安全にインターネットを利用できるようになる。
「We are ECO」のスライドが作れるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／ITリテラシー①
2回目	ITリテラシー②
3回目	Wordの基本操作①
4回目	Wordの基本操作②
5回目	Wordの基本操作③
6回目	Wordの基本操作④
7回目	Wordの基本操作⑤
8回目	Word中級編①
9回目	Word中級編②
10回目	Word中級編③
11回目	Wordの応用①
12回目	Wordの応用②
13回目	Wordの応用③
14回目	期末評価/Wordの応用まとめ
15回目	PowerPoint基礎①
準備学習 時間外学習	課題提出の準備として、事前の画像・映像などの撮影チェック(スマートフォンでできる範囲でよい) 授業の予習として、わからない言葉や内容の部分を自宅のネット環境で調べられる範囲の予習。 授業後の内容確認としてパソコン操作のを確認する。
評価方法	小テスト(20%)＋中間評価テスト(30%)＋期末テスト(50%)　※中間・期末の評価は提出作品（Word作品提出）

【使用教科書・教材・参考書】

COMPUTER　BASIC　WORD　2019　（株式会社滋慶出版）　・　COMPUTER　BASIC　EXCEL　2019　（株式会社滋慶出版）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	コンピュータ演習 （Computer Skills Practice）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	千葉　恵一/井口　恵美里
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日4時限or水曜日1時限or水曜日4時限or木曜日1時限

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく
後期は「Excel」を使い「計算式が入った表」や「読みやすいグラフの作り方」を勉強していく
Excelへの苦手意識を少しでも減らす講義にする
基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※担当教員：長年滋慶学園各校でコンピュータ授業を担当。

【到達目標】

Excelへの苦手意識を少しでも減らし、教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる。
Excelを使って計算式が入った表やグラフが作成出来るようになる。
「We are ECO」のスライドを作成することが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	PowerPoint基礎（印刷、スライドマスター、切り替え効果、アニメーション）
2回目	PowerPoint課題提出
3回目	Excelの基礎①
4回目	Excelの基礎②
5回目	Excelの基礎③
6回目	Excelの基礎④
7回目	Excel中級編①
8回目	Excel中級編②
9回目	Excel中級編③
10回目	Excel中級編④
11回目	Excelの応用①
12回目	Excelの応用②
13回目	Excelの応用③
14回目	期末評価/Excel応用まとめ
15回目	まとめ(Word・Excel・PowerPoint)
準備学習 時間外学習	課題提出の準備として、事前の画像・映像などの撮影チェック(スマートフォンでできる範囲でよい) 授業の予習として、わからない言葉や内容の部分を自宅のネット環境で調べられる範囲の予習。 授業後の内容確認としてパソコン操作のを確認する
評価方法	小テスト(20%)＋中間評価テスト(30%)＋期末テスト(50%)　※中間・期末の評価は提出作品（PowerPoint作品提出・Excel作品提出）

【使用教科書・教材・参考書】

COMPUTER　BASIC　WORD　2019　（株式会社滋慶出版）　・　COMPUTER　BASIC　EXCEL　2019　（株式会社滋慶出版）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	コミュニケーションスキルアップ （Improving Communication Skills）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	セレーノコーポレーション
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限or水曜日2時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※担当教員：各種セミナー（話し方、傾聴、新入社員研修等）を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指すと共に、
豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業の進め方、オリエンテーション（自己紹介）、コミュニケーションの定義【P9～】
2回目	第一印象（コミュニケーションの定義、メラビアンの法則、笑顔の作り方）【P14～】 基本的対話スキル、会話のプロセス
3回目	基本的対話スキル 「話し方」【P18～】
4回目	基本的対話スキル 「聴き方」【P23～】
5回目	基本的対話スキル 「グループでの会話」【P34～】
6回目	ロープレ：情報共有、整理・集約のゲーム①、中間試験対策
7回目	中間試験、自己表現スキル 「挨拶」「自己表現」【P42～】
8回目	中間評価フィードバック、自己表現スキル 「上手な頼み方、断り方」「自己主張」【P46～】
9回目	自己表現スキル 「報連相」「会議・ミーティング」【P60～】
10回目	自己表現スキル 「アンガ―マネジメント」【P80～】
11回目	社会的スキル 「基本的な社会的スキル」【P94～】
12回目	社会的スキル 「挨拶」「敬語」「電話応対」【P96～】
13回目	前期評価テスト　対策
14回目	前期評価テスト　実施　試験後、教科書のポイントを再度伝え、内容を理解させる
15回目	前期評価テスト　解説 後期の授業の進め方
準備学習 時間外学習	次週の授業内容の範囲を、教科書を読み、わからない言葉・言い回しを抜き出しておくこと。
評価方法	試験100％

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定（JESC）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	コミュニケーションスキルアップ （Improving Communication Skills）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	セレーノコーポレーション
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限or水曜日2時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※担当教員：各種セミナー（話し方、傾聴、新入社員研修等）を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指すと共に、
豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	ロープレ：ビジネス電話検定、電話応対ゲーム
2回目	社会的スキル 「接客」「訪問」【P105～】
3回目	社会的スキル 「謝罪」【P112～】
4回目	ロープレ：接客、訪問、名刺交換
5回目	社会的スキル 「ビジネス文書」「メール」「FAX」「SNS」【P116～】
6回目	中間試験対策
7回目	中間試験、サービスマインドとは
8回目	中間評価フィードバック DVD鑑賞　マナーの本質 「相手を思いやる心」
9回目	サービスマインド 「サービスとは」「サービスの心得」【P126～】
10回目	サービスマインド 「サービス基本要素」【P132～】
11回目	ロープレ：ビジネスシュミレーションゲーム（敬語・電話応対・訪問・接客）
12回目	謝罪（謝る、お詫びする） マナーを意識した行動
13回目	後期期末試験対策
14回目	後期期末試験、ビジネスシュミレーションワーク
15回目	1年間の総復習、ロープレ
準備学習 時間外学習	次週の授業内容の範囲を、教科書を読み、わからない言葉・言い回しを抜き出しておくこと。
評価方法	試験100%

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定（JESC）

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	進級課題 (Level Advancement Study)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	大木　幸恵/塩田　里美
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。

【到達目標】

学習成果（知識・技術）をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。

授業計画・内容	
1回目	進級課題とは①　～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは②　～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方　～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定　～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習①　～自分（班）のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習②　～途中経過の報告～
7回目	実践学習③　～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備①　～パワーポイント作成～
9回目	発表準備②　～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③　～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④　～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤　～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り　～各自（班内）で意見交換、発表～
準備学習 時間外学習	各自（各班）で意見交換を随時行う。 また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。
評価方法	・発表内容：80% ・課題への参加度：20%

【使用教科書・教材・参考書】

専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別講義＆見学 （Special Lecture）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

・動物業界で必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
・動物業界で必要な人間力を理解し、身に付ける。
・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授業計画・内容	
1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	海外実学研修 （Overseas Practical Training）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	現地各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 （ 4 ）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

国際教育の一環として、実際に海外での施設見学、特別講義、自由行動を通し国際性を身に付け、グローバル化する現代社会で活躍できる人材育成を目的とする。

※担当教員実務経験：海外における現地実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・最先端の動物、環境に関わる知識や技術を理解し身に付ける。
・これからの業界に必要な考え方を理解し身に付ける。
・世界における日本の立場を理解する。
・自身のキャリアをデザインする。

授業計画・内容	
1回目	訪問国、訪問施設を調べまとめる、班ごとに発表する
2回目	訪問国での施設見学、特別講義
3回目	訪問国での施設見学、特別講義
4回目	訪問国での施設見学、特別講義
5回目	訪問国での施設見学、特別講義
6回目	訪問国での施設見学、特別講義
7回目	訪問国での施設見学、特別講義
8回目	訪問国での施設見学、特別講義
9回目	訪問国での施設見学、特別講義
10回目	訪問国での施設見学、特別講義
11回目	訪問国での施設見学、特別講義
12回目	訪問国での施設見学、特別講義
13回目	訪問国での施設見学、特別講義
14回目	研修ノートのまとめ、レポート作成
15回目	海外実学研修の振り返り、発表、まとめ
準備学習 時間外学習	・【事前学習】訪問国、訪問施設を調べまとめる ・【事後学習】訪問施設を研修ノート及びレポートにまとめる
評価方法	・研修ノート、レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去の海外実学研修ノート

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	イベント運営 （Event Management）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各イベント実務従事者
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・企画立案、運営ができるようになる。
・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
・接客を知り、実践できるようになる。
・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
・予算管理を実践し習得する。
・スケジューリングを理解し、実践できる。

授業計画・内容	
1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備（50%） ・レポート(50%)

【使用教科書・教材・参考書】

過去のイベント資料

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別課外活動 （Club Activities）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学友会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。

【到達目標】

・チームワークを身に付ける。
・計画性を身に付ける。
・予算管理を身に付ける。
・マネジメントを理解し身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ボランティア活動 （Volunteer Work）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。

※担当教員：各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。
・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去のボランティア活動報告書

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	資格取得講座 （Seminar for a Qualification）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	塩田　里美/森若　賢子
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。

※担当教員
森若賢子：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務後、動物看護師育成に携わる。
塩田里美：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務。その後動物実験施設に従事。動物看護師育成に携わる。

【到達目標】

・各検定試験、資格試験の合格

授業計画・内容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去の各検定、資格教本

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物繁殖学 （ Animal Theriogenology ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	月時　加寿子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日3時限or火曜日4時限

【授業の学習内容】

動物の周産期看護のためには、その動物の生殖や新生仔への対応に関する知識が必要となる。この科目では犬猫を中心に、生殖器・性行動・妊娠・分娩・産褥期、新生仔期に必要なケアおよび遺伝学の基礎知識について学んでいく。

※担当教員実務経験：獣医師免許を取得した後、国際協力団体で家畜飼育に関わる。産業動物診療に従事。

【到達目標】

犬猫の生殖器の解剖学的特徴と生理機能を説明できる。
動物種ごとの胎盤形状の違いを説明できる。
犬猫の発情～分娩までの流れを説明できる。
出生後の新生仔のケアを説明できる。
遺伝のメカニズムを理解できている。

授業計画・内容	
1回目	これからの学習について　生殖器の構成
2回目	雄の生殖器
3回目	雌の生殖器
4回目	精子と卵子の形成
5回目	性成熟、発情周期と発情兆候
6回目	交配
7回目	中間評価
8回目	着床、妊娠、妊娠期
9回目	分娩と助産、不妊手術、人工授精
10回目	新生子とは
11回目	新生子の管理方法
12回目	遺伝の基礎知識
13回目	新生子の発育異常と遺伝性疾患
14回目	期末評価
15回目	これまでの復習
準備学習 時間外学習	教科書を読んでおくこと。
評価方法	中間評価40点＋期末評価40点＋平常点20点＝100点満点

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第1巻

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物病理学 （ Veterinary Pathology ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	木道　浩子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日3時限or火曜日4時限

【授業の学習内容】

傷病動物の看護をするためには健常な動物との差異を把握しておく必要がある。
この科目では様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。

※担当教員実務経験：獣医師免許取得後、関東地区の動物病院に所属。平成元年4月よりきどう動物病院にて動物診療補佐に従事。

【到達目標】

動物の体の様子や器官及び組織の形態を観察することで、体に起きた変化（病態）について調べる方法を知っている。
病気の原因や成り立ち、それまでの経過を理解することにより、適切な予防や看護方針を立てることに役立てることができる。

授業計画・内容	
1回目	動物病理学とは何か　生体反応と病気の成り立ち
2回目	病理解剖と病理組織学的検査の目的や意義および作製法
3回目	細胞障害の過程とさまざまな細胞障害因子
4回目	傷害を受けた細胞の変化
5回目	細胞の増殖と組織の修復
6回目	血液とリンパ液の循環および循環障害
7回目	出血の原因と病態および血栓の成因
8回目	播種性血管内凝固およびショックの原因や病態
9回目	炎症の原因と経過
10回目	急性炎症と慢性炎症
11回目	免疫反応と免疫の異常
12回目	腫瘍の定義と分類
13回目	先天異常
14回目	評価試験および振り返り
15回目	評価試験の解説とまとめ
準備学習 時間外学習	授業後に次回授業に該当するテキストのページを告知。予習の上授業に参加すること。 各単元ごとの小テストにむけて復習をしておくこと。
評価方法	小テスト（20%） 筆記試験（80%）

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第3巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物薬理学 （ Veterinary pharmacology ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	髙山　清次
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日1時限

【授業の学習内容】

動物に使用される医薬品の分類・規制・保管、薬物動態、薬物の作用、投与方法、薬剤の形状、薬用量計算、各種薬物について学び、動物看護師として必要な薬理学の知識を理解することを目的とする。

※担当教員：麻布大学獣医学部博士課程修了（獣医学博士）

【到達目標】

動物病院における薬物の管理や準備等、日常的に動物看護師が行う業務に対する理解を深めることができるようになり、より安全な獣医療を意識できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	薬物治療の概念と目的を理解できる。
2回目	医薬品の分類と法規が理解できる。
3回目	薬物の動態学、薬物の分布を理解できる。
4回目	薬物の作用発現の機序、薬物の生体内変化の機序を理解できる。
5回目	処方箋と調剤方法を理解できる。
6回目	中間評価・試験解説および振り返り
7回目	薬用量の計算手順（正確な体重測定、薬剤の有効成分量）を理解できる。
8回目	薬用量の計算手順（投与量の計算方法）を理解できる。
9回目	治療薬の薬物名、剤形を理解できる。
10回目	薬物の投与方法と薬効発現を理解できる。
11回目	薬物の取り扱いを理解できる。
12回目	調剤法の基本（処方箋、調剤の実際）を理解できる。
13回目	神経系に作用する薬物（麻酔薬、鎮痛薬等）を理解できる。
14回目	評価試験および振り返り
15回目	評価試験返却・解説・まとめ
準備学習 時間外学習	テキストの範囲内を予習・復習すること。
評価方法	定期試験の結果（80%）に、授業態度と出席度（20%）を加味して評価。

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書　第3巻
基礎動物看護学　動物薬理学　緑書房

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物薬理学 （ Veterinary pharmacology ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	髙山　清次
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日1時限

【授業の学習内容】

動物病院で使用される薬剤について、作用・代謝・管理方法等について説明できるようになる。
薬剤の処方は獣医師が行うが、調剤補助や投薬補助を行う動物看護師も基本的な薬剤の知識をもった上で業務に携わるべきである。
この科目では薬剤の取り扱いや、動物病院で扱う機会の多い薬剤の作用・代謝につい学んでいく。

※担当教員：麻布大学獣医学部博士課程修了（獣医学博士）

【到達目標】

薬剤を適切に取り扱うことができる。
主な薬剤の作用機序や特性を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	呼吸器系に作用する薬物（呼吸興奮薬、鎮咳薬）を理解できる。
2回目	循環器・泌尿器に作用する薬物（血管拡張薬、心不全治療薬）を理解できる。
3回目	消化器に作用する薬物（制吐薬、抗潰瘍薬）を理解できる。
4回目	消化器に作用する薬物（消化管運動に作用する薬、止瀉薬等）を理解できる。
5回目	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物（オータコイド、糖尿病治療薬）を理解できる。
6回目	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物（甲状腺障害の治療薬、ステロイド薬）を理解できる。
7回目	血液・免疫系に作用する薬物（抗貧血薬、止血薬等）を理解できる。
8回目	中間評価・試験解説および振り返り
9回目	抗菌薬の種類と作用機序を理解できる。
10回目	抗菌薬に対する耐性獲得・抗菌薬の残留を理解できる。
11回目	抗真菌薬の種類と作用機序を理解できる。
12回目	駆虫薬の種類と作用機序を理解できる。
13回目	抗がん剤の種類、使用方法を理解できる。
14回目	評価試験および振り返り
15回目	評価試験返却・解説・まとめ
準備学習 時間外学習	テキストの範囲内を予習・復習すること。
評価方法	定期試験の結果（80%）に、授業態度と出席度（20%）を加味して評価。

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書　第3巻
基礎動物看護学　動物薬理学　緑書房

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	動物薬理学 （ Veterinary pharmacology ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	田沼　幸子
		授業形態	講義	総時間（単位）	60 （４）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3時限／火曜日3時限

【授業の学習内容】

動物病院で使用される薬剤について、作用・代謝・管理方法等について説明できるようになる。
薬剤の処方は獣医師が行うが、調剤補助や投薬補助を行う動物看護師も基本的な薬剤の知識をもった上で業務に携わるべきである。
この科目では薬剤の取り扱いや、動物病院で扱う機会の多い薬剤の作用・代謝につい学んでいく。

※担当教員実務経験：平成9年3月　日本大学生物資源科学部獣医学科卒業・獣医師国家資格取得。
平成9年4月～平成12年12月　千葉県、埼玉県内の動物病院にて勤務。
平成13年6月　福岡県糟屋郡志免町にて東福岡たぬま動物病院を開業し、現在に至る。

【到達目標】

薬剤を適切に取り扱うことができる。
主な薬剤の作用機序や特性を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	薬物の取り扱い
2回目	薬理学の基礎
3回目	神経系に作用する薬
4回目	神経系に作用する薬
5回目	呼吸器系に作用する薬
6回目	循環器・泌尿器に作用する薬
7回目	消化器に作用する薬
8回目	消化器に作用する薬
9回目	オータコイド
10回目	糖尿病・甲状腺の薬
11回目	ステロイド　血液に関係する薬
12回目	抗炎症薬　免疫抑制剤　消毒薬
13回目	殺虫薬　抗菌薬
14回目	評価試験および振り返り
15回目	抗真菌薬　駆虫薬　抗がん剤
準備学習 時間外学習	テキストの範囲内を予習・復習すること。
評価方法	出席（30%）　小テスト（20%）　期末試験（50%）

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第3巻(緑書房)

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	公衆衛生学 （Public Health）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	月時　加寿子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3時限or月曜日4時限

【授業の学習内容】

獣医療に従事する上では、健康な社会を維持するための防疫への理解を深める必要がある。
この科目では環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、公衆衛生の基本的な考え方を理解する。

※担当教員実務経験：獣医師免許を取得した後、国際協力団体で家畜飼育に関わる。産業動物診療に従事。

【到達目標】

公衆衛生の概念を説明できる。
代表的な人獣共通感染症の病原体・症状・伝播様式・予防法を説明できる。
環境衛生・食品衛生に関する基本的な語句を理解している。

授業計画・内容	
1回目	これからの学習について　公衆衛生の目的
2回目	国民衛生の動向
3回目	公衆衛生における獣医師と愛玩動物看護師の役割
4回目	感染管理
5回目	バイオハザードの防止
6回目	バイオセーフティとバイオセキュリティ
7回目	中間評価
8回目	疫学とは
9回目	感染症、特定分野の疫学
10回目	人獣共通感染症とは
11回目	人獣共通感染症　各論①
12回目	人獣共通感染症　各論②
13回目	人獣共通感染症　各論③
14回目	期末試験
15回目	これまでの復習
準備学習 時間外学習	教科書を読んでおくこと。
評価方法	中間試験 40% 期末試験 40% 平常点 20%

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第3巻

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	公衆衛生学 （Public Health）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	月時　加寿子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日3時限or火曜日4時限

【授業の学習内容】

獣医療に従事する上では、健康な社会を維持するための防疫への理解を深める必要がある。
この科目では環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、公衆衛生の基本的な考え方を理解する。

※担当教員実務経験：獣医師免許を取得した後、国際協力団体で家畜飼育に関わる。産業動物診療に従事。

【到達目標】

公衆衛生の概念を説明できる。
代表的な人獣共通感染症の病原体・症状・伝播様式・予防法を説明できる。
環境衛生・食品衛生に関する基本的な語句を理解している。

授業計画・内容	
1回目	環境と環境衛生の概念
2回目	日本の公害の歴史と環境基本法
3回目	地球環境問題、一般環境の衛生
4回目	放射能による汚染および障害
5回目	動物が関与する健康被害
6回目	廃棄物、院内感染、衛生動物
7回目	中間評価
8回目	食品衛生とは
9回目	食品の変質
10回目	食中毒
11回目	食中毒各論
12回目	食物アレルギー
13回目	食品に起因する危害の防止と食品の取り扱い
14回目	期末評価
15回目	これまでの復習
準備学習 時間外学習	教科書を読んでおくこと。
評価方法	中間試験 40% 期末試験 40% 平常点 20%

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第3巻

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	動物臨床看護学総論 (Introduction to Clinical Animal Nursing)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	池上　美紀
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻(昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部)	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日1時限or木曜日2時限

【授業の学習内容】

動物看護過程の一連のプロセスを学び、個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を理解する。

※担当教員実務経験：福岡県内の動物病院で動物看護業務に従事。
JAHA認定動物看護士1級。動物看護師統一認定機構 認定動物看護師。

【到達目標】

動物看護過程の流れと目的を説明できる。
動物看護記録の手法を説明できる。
動物のライフステージごとの看護ポイントを理解できている。

授業計画・内容	
1回目	導入 ①動物看護過程の目的や意義、方法について理解する
2回目	②動物看護過程の各ステップについて理解する
3回目	③アセスメントについて理解する ④事例ごとの個別性、情報の整理と解釈について理解する
4回目	⑤問題の明確化と動物看護計画の立案について理解する
5回目	⑥動物看護過程の実施と評価について理解する
6回目	①診療録(カルテ)の作成方法について理解する ②動物看護記録の目的や書式、事例に応じた作成法について理解する
7回目	①チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割について理解する ②ケアの標準化(クリティカルパス)について理解する
8回目	③事故管理、防止システムについて理解する
9回目	④若齢動物看護の特徴について理解する
10回目	⑤老齢動物看護の特徴や褥瘡について理解する
11回目	⑥家庭での継続看護を視野に入れた退院計画-指導について理解する
12回目	①ターミナルケアの目的と意義について理解する ②QOLやホスピス、緩和ケアについて理解する
13回目	③グリーフケアについて理解する ④死亡した動物への対応とエンゼルケアについて理解する
14回目	試験および振り返り
15回目	返却・解説
準備学習 時間外学習	各回の授業を復習したうえで次回の授業を受けること。
評価方法	筆記試験(90%) 授業に取り組む姿勢(5%) 出席率(5%)

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第5巻

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物臨床看護学各論 (Clinical Animal Nursing)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	木道　浩子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	60 （4）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日1時限/木曜日3時限or木曜日2時限/金曜日2時限

【授業の学習内容】

傷病動物の看護を行うには、その動物の健康を阻害する疾患の原因・症状・治療・予後を把握しておく必要がある。
この科目では各器官系ごとの代表的な疾患を学び、疾病別の動物看護に活かしていく。

※担当教員実務経験：獣医師免許取得後、関東地区の動物病院に所属。平成元年4月よりきどう動物病院にて動物診療補佐に従事。

【到達目標】

各疾患の機序と症状を説明できる。
各疾患の検査法・一般的な治療法を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション
2回目	循環器の仕組みと循環器疾患の検査や徴候
3回目	循環器疾患
4回目	呼吸器の仕組みと呼吸器疾患の検査や徴候
5回目	呼吸器疾患
6回目	消化器系の仕組みと消化器疾患の検査や徴候
7回目	口腔・咽頭の疾患
8回目	食道と胃腸の疾患
9回目	肝臓の疾患
10回目	膵臓の疾患
11回目	泌尿生殖器の仕組みと疾患の検査や徴候
12回目	泌尿器系疾患
13回目	生殖器疾患
14回目	評価試験および振り返り
15回目	評価試験の解説とまとめ
準備学習 時間外学習	授業後に次回授業に該当するテキストのページを告知。予習のうえ授業に参加すること。 各単元ごとの小テストにむけて復習しておくこと。
評価方法	小テスト（50%） 筆記試験（50%）

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第5巻（緑書房）
カラーアトラス最新くわしい犬の病気大図典（誠文堂新光社）
カラーアトラス最新くわしい猫の病気大図典（誠文堂新光社）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物臨床看護学各論 (Clinical Animal Nursing)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	木道　浩子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	60 （4）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日4時限／水曜日2時限or木曜日2時限／金曜日2時限

【授業の学習内容】

傷病動物の看護をおこなうには、その動物の健康を阻害する疾患の原因・症状・治療・予後を把握しておく必要がある。
この科目では各器官系ごとの代表的な疾患を学び、疾病別の動物看護に活かしていく。

※担当教員実務経験：獣医師免許取得後、関東地区の動物病院に所属。平成元年4月よりきどう動物病院にて動物診療補佐に従事。

【到達目標】

各疾患の機序と症状を説明できる。
各疾患の検査法・一般的な治療法を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	整形外科疾患
2回目	筋骨格系疾患
3回目	脳神経系の仕組みと脳神経系疾患の検査や徴候
4回目	脳神経系疾患
5回目	眼の仕組みと眼科疾患の検査や徴候
6回目	眼科疾患
7回目	皮膚の仕組みと皮膚科疾患の検査や徴候
8回目	皮膚科疾患
9回目	アレルギー疾患
10回目	内分泌疾患
11回目	血液・造血器疾患
12回目	緊急疾患
13回目	担がん動物の看護
14回目	評価試験および振り返り
15回目	評価試験の解説とまとめ
準備学習 時間外学習	授業後に次回授業に該当するテキストのページを告知。予習のうえ授業に参加すること。 各単元ごとの小テストにむけて復習しておくこと。
評価方法	小テスト（50%） 筆記試験（50%）

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第5巻（緑書房）
カラーアトラス最新くわしい犬の病気大図典（誠文堂新光社）
カラーアトラス最新くわしい猫の病気大図典（誠文堂新光社）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物臨床検査学 （Clinical Laboratory Veterinary Medicine）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保田　友美
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日1時限or金曜日3時限

【授業の学習内容】

動物病院で行われる検体検査(糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、病理検査、遺伝子検査)についての理解を深めるため、
検査の原理や方法・意義について学び、採材から結果の評価までを実技を交え学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師。福岡市内の動物病院勤務。

【到達目標】

糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、病理検査、遺伝子検査の目的と意義を説明できる。
動物から採取した検体を検査内容に合わせて処理し、適切な手順で検査を行うことができる。

授業計画・内容	
1回目	臨床検査での動物看護師の役割について　顕微鏡の使用方法
2回目	糞便検査：一般性状の評価項目　採便方法による違い　直接法・浮遊法の目的　直接法鏡検
3回目	糞便検査：消化器症状を引き起こす病原体　浮遊法実施　抗原検査
4回目	尿検査：各採尿方法の特徴　尿比重・尿蛋白の測定　尿検査試験紙および顕微鏡検査
5回目	尿検査：尿沈渣検体の顕微鏡での評価（病原体、結石、尿円柱など）
6回目	尿検査：尿検査の実際の適応（可能であれば症例データを提示して解説）　尿検査実技復習
7回目	糞便検査・尿検査についての総復習
8回目	皮膚科検査：皮膚科診療の流れ　皮膚科検査（掻爬検査、抜毛検査、押捺検査、耳垢検査）の目的・手法
9回目	皮膚科検査：皮膚科検査（ウッド灯検査、真菌培養、細菌培養同定、アレルギー検査、内分泌検査、画像検査、生検検査）の目的・手法
10回目	糞便検査、尿検査、皮膚検査で使用する検体を採取し、一般検査および評価を実施
11回目	糞便検査、尿検査、皮膚検査で使用する検体を採取し、一般検査および評価を実施
12回目	総復習
13回目	総復習
14回目	前期評価試験および振り返り
15回目	評価試験解説　採血手技の確認
準備学習 時間外学習	動物の体の仕組み（ 解剖学 、生理学 ）、動物の病気について理解が必要。
評価方法	筆記試験（90%）、授業への積極性（10%） ※評価は動物臨床検査学実習とあわせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第5巻（緑書房）
動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物臨床検査学 （Clinical Laboratory Veterinary Medicine）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保田　友美
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日1時限or金曜日3時限

【授業の学習内容】

この科目では動物病院で行われる検体検査(糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、微生物学的検査、病理検査、遺伝子検査)についての理解を深めるため、検査の原理や方法・意義について学び、採材から結果の評価までを実技を交え学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師。福岡市内の動物病院勤務。

【到達目標】

糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、微生物学的検査、病理検査、遺伝子検査の目的と意義を説明できる。
動物から採取した検体を検査内容に合わせて処理し、適切な手順で検査を行うことができる。

授業計画・内容	
1回目	血液検査：　血液検査の意義および手技の理解　　ヘマトクリット管を用いた検査、血液塗抹の作製
2回目	血液検査：　自動血球計算機によるCBCの評価　　血液塗抹における血球の形態観察および分類
3回目	血液検査：　白血球百分比
4回目	血液検査：　白血球百分比の結果を出し、病態を評価
5回目	血液検査：　貧血の分類　　網状赤血球と再生性貧血/非再生性貧血
6回目	血液検査：　血液生化学的検査の各項目の意義　　結果からの病態評価
7回目	血液検査復習
8回目	微生物学的検査：　病原性微生物の分類　　細菌培養
9回目	微生物学的検査：　グラム染色　　抗生剤感受性検査
10回目	血液検査復習
11回目	病理検査：　細胞診の適応および手技　　腫瘍性病変/炎症性病変/その他の特徴　　腟スメアを用いた交配適期の判定
12回目	遺伝子検査：　遺伝子検査の目的と意義
13回目	総復習
14回目	後期評価試験および振り返り
15回目	評価試験解説　　実習の総括
準備学習 時間外学習	動物の体の仕組み（ 解剖学 、生理学 ）、動物の病気について理解が必要。
評価方法	筆記試験（90%）、授業への積極性（10%） ※評価は動物臨床検査学実習とあわせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第5巻（緑書房）
動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物臨床検査学 （Clinical Laboratory Veterinary Medicine）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前田　暁子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日1時限or水曜日3時限

【授業の学習内容】

この科目では動物病院で行われる検体検査(糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、病理検査、遺伝子検査)についての理解を深めるため、
検査の原理や方法・意義について学び、採材から結果の評価までを実技を交え学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師。福岡市内の動物病院勤務。

【到達目標】

糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、病理検査、遺伝子検査の目的と意義を説明できる。
動物から採取した検体を検査内容に合わせて処理し、適切な手順で検査を行うことができる。

授業計画・内容	
1回目	臨床検査での動物看護師の役割について　顕微鏡の使用方法
2回目	糞便検査：一般性状の評価項目　採便方法による違い　直接法・浮遊法の目的　直接法鏡検
3回目	糞便検査：消化器症状を引き起こす病原体　浮遊法実施　抗原検査
4回目	尿検査：各採尿方法の特徴　尿比重・尿蛋白の測定　尿検査試験紙および顕微鏡検査
5回目	尿検査：尿沈渣検体の顕微鏡での評価（病原体、結石、尿円柱など）
6回目	尿検査：尿検査の実際の適応（可能であれば症例データを提示して解説）　尿検査実技復習
7回目	糞便検査・尿検査についての総復習
8回目	皮膚科検査：皮膚科診療の流れ　皮膚科検査（掻爬検査、抜毛検査、押捺検査、耳垢検査）の目的・手法
9回目	皮膚科検査：皮膚科検査（ウッド灯検査、真菌培養、細菌培養同定、アレルギー検査、内分泌検査、画像検査、生検検査）の目的・手法
10回目	糞便検査、尿検査、皮膚検査で使用する検体を採取し、一般検査および評価を実施
11回目	糞便検査、尿検査、皮膚検査で使用する検体を採取し、一般検査および評価を実施
12回目	総復習
13回目	総復習
14回目	前期評価試験および振り返り
15回目	評価試験解説　採血手技の確認
準備学習 時間外学習	実施内容に該当するテキストページを授業までに熟読し、質問を考えておくこと。
評価方法	期末試験 70% 平常点（出席・授業態度）30% ※評価は動物臨床検査学実習とあわせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第4巻（緑書房）
動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物臨床検査学 （Clinical Laboratory Veterinary Medicine）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前田　暁子
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日1時限or水曜日3時限

【授業の学習内容】

この科目では動物病院で行われる検体検査(糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、病理検査、遺伝子検査)についての理解を深めるため、
検査の原理や方法・意義について学び、採材から結果の評価までを実技を交え学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師。福岡市内の動物病院勤務。

【到達目標】

糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、微生物学的検査、病理検査、遺伝子検査の目的と意義を説明できる。
動物から採取した検体を検査内容に合わせて処理し、適切な手順で検査を行うことができる。

授業計画・内容	
1回目	血液検査：　血液検査の意義および手技の理解　　ヘマトクリット管を用いた検査、血液塗抹の作製
2回目	血液検査：　自動血球計算機によるCBCの評価　　血液塗抹における血球の形態観察および分類
3回目	血液検査：　白血球百分比
4回目	血液検査：　白血球百分比の結果を出し、病態を評価
5回目	血液検査：　貧血の分類　　網状赤血球と再生性貧血/非再生性貧血
6回目	血液検査：　血液生化学的検査の各項目の意義　　結果からの病態評価
7回目	血液検査復習
8回目	微生物学的検査：　病原性微生物の分類　　細菌培養
9回目	微生物学的検査：　グラム染色　　抗生剤感受性検査
10回目	血液検査復習
11回目	病理検査：　細胞診の適応および手技　　腫瘍性病変/炎症性病変/その他の特徴　　腟スメアを用いた交配適期の判定
12回目	遺伝子検査：　遺伝子検査の目的と意義
13回目	総復習
14回目	後期評価試験および振り返り
15回目	評価試験解説　　実習の総括
準備学習 時間外学習	実施内容に該当するテキストページを授業までに熟読し、質問を考えておくこと。
評価方法	期末試験 70% 平常点（出席・授業態度）30% ※評価は動物臨床検査学実習とあわせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第4巻（緑書房）
動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	人と動物の関係学 （Study of Human-Animal Bond）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	髙原　志保
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日1時限or木曜日2時限

【授業の学習内容】

人間社会の中で、人と動物の関わりの実態を知り、その効果とHABの理念を基にした社会福祉活動について学ぶ。
また、動物の飼養や利用する上での問題や課題について学ぶ。

※担当教員実務経験：家庭犬のしつけインストラクターとして動物福祉の現場や動物介在活動に長年従事。

【到達目標】

動物と人の双方がもたらす心理的、生理的、社会的効果を説明できる。
AAA・AAT・AAEの違いを説明できる。
HABの効果を実感でき、自分がどうHABの活用を出来るか考え実践できる。
動物の飼養・利用上の問題や課題について考え、対処したりより良い関わり方を実践できる。

授業計画・内容	
1回目	人と動物の関わりの歴史　HAB研究
2回目	人と動物の関わりの歴史　HAB研究
3回目	人と動物の関わりの歴史　HAB研究
4回目	お年寄りとペット
5回目	お年寄りとペット
6回目	子どもとペット
7回目	障がい者とペット　補助犬
8回目	破壊作用　動物虐待　多頭飼育崩壊
9回目	動物嫌いな人へのワーク
10回目	動物観
11回目	動物介在介入
12回目	動物介在介入と動物看護師の関わり
13回目	学校飼育動物　人から動物へのHAB
14回目	評価試験および振り返り
15回目	試験解答・解説　グリーフケア
準備学習 時間外学習	配布プリントや教科書の予習、まとめなどの復習を行う。 動物に関する時事問題についてレポートの作成。 小テストの実施と復習を行う。
評価方法	筆記試験　60% 授業内評価（小テスト・レポート）　40%

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第6巻（緑書房）
自作プリント
新聞やニュースのトピック

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	適正飼養指導論 （Proper breeding guidance theory）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	大木　幸恵
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日4時限or木曜日4時限

【授業の学習内容】

愛玩動物の効用や飼養目的などを理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。

※担当教員実務経験：愛玩動物看護師。動物取扱責任者として全国に展開する総合ペットショップにて従事後、動物看護師育成に携わる。

【到達目標】

愛玩動物の適正飼養の目的・概念を理解する。
愛玩動物飼養のニーズや目的を理解するとともにグリーフケア・ペットロスに必要な支援を理解する。
動物取扱業者における適正飼養の推進について理解する。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション
2回目	人と動物の関係
3回目	愛玩動物の適正飼養の目的と概念
4回目	動物愛護管理法と動物福祉
5回目	愛玩動物飼育による恩恵と問題点
6回目	ペットロス・グリーフケアについて
7回目	ペットロス・グリーフケアについて
8回目	適正飼養の推進
9回目	動物取扱業者における適正飼養
10回目	動物愛護管理法改正による基準制定について
11回目	動物取扱業者における飼育管理基準
12回目	過剰繁殖の問題点と対策
13回目	問題行動予防のための適切な飼育方法
14回目	期末試験及び振り返り
15回目	試験解説及びまとめ
準備学習 時間外学習	該当するテキストページを予習の上授業に参加すること。
評価方法	筆記試験70% 授業態度・出席状況30%

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第6巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	適正飼養指導論 （Proper breeding guidance theory）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大木　幸恵
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日4時限or水曜日1時限

【授業の学習内容】

愛玩動物の効用や飼養目的などを理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。

※担当教員実務経験：愛玩動物看護師。動物取扱責任者として全国に展開する総合ペットショップにて従事後、動物看護師育成に携わる。

【到達目標】

動物愛護管理行政の役割と愛玩動物看護師の役割を理解する。
災害時の同行避難の重要性を理解し、説明できる。

授業計画・内容	
1回目	動物愛護管理行政と動物愛護週間
2回目	公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割
3回目	犬猫の引き取り及び収容や処分の状況
4回目	動物による事故と報告状況
5回目	動物愛護管理センターと動物愛護推進員
6回目	動物取扱業と動物取扱責任者
7回目	動物取扱責任者要件における民間資格一覧
8回目	災害時における人と愛玩動物
9回目	災害と同行避難
10回目	飼い主と愛玩動物の災害への備え
11回目	災害獣医療
12回目	シェルターメディスン
13回目	災害時/平常時における愛玩動物看護師の役割
14回目	期末試験及び振り返り
15回目	試験解説及びまとめ
準備学習 時間外学習	該当するテキストのページを熟読のうえ授業に参加すること。
評価方法	筆記試験70% 授業態度・出席状況30%

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第6巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物生活環境学 （Animal livimg environment）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	（複数講師によるオムニバス形式）
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	集中講義

【授業の学習内容】

動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。

※担当教員実務経験：ペット関連産業に従事する複数講師の方より指導頂く。

【到達目標】

ペット共生型住宅やペット同伴型レジャーについて、適切な在り方や現在の問題点を理解できている。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション
2回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
3回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
4回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
5回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
6回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
7回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
8回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
9回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
10回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
11回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
12回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
13回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
14回目	ペット共生型サービスの種類　現状と今後の展開
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	事前課題を提示するので、授業までに仕上げておくこと。
評価方法	授業後のレポート提出をもって単位認定を行う。

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書 第6巻（緑書房）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物臨床検査学実習 （Veterinary Clinical Laboratory Practice）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保田　友美
		授業形態	実習	総時間 （単位）	30 （１）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日2時限or金曜日4時限

【授業の学習内容】

動物病院で行われる検体検査(糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、病理検査、遺伝子検査)についての理解を深めるため、
検査の原理や方法・意義について学び、採材から結果の評価までを実技を交え学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師。福岡市内の動物病院勤務。

【到達目標】

糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、病理検査、遺伝子検査の目的と意義を説明できる。
動物から採取した検体を検査内容に合わせて処理し、適切な手順で検査を行うことができる。

授業計画・内容	
1回目	臨床検査での動物看護師の役割について　顕微鏡の使用方法
2回目	糞便検査：一般性状の評価項目　採便方法による違い　直接法・浮遊法の目的　直接法鏡検
3回目	糞便検査：消化器症状を引き起こす病原体　浮遊法実施　抗原検査
4回目	尿検査：各採尿方法の特徴　尿比重・尿蛋白の測定　尿検査試験紙および顕微鏡検査
5回目	尿検査：尿沈渣検体の顕微鏡での評価（病原体、結石、尿円柱など）
6回目	尿検査：尿検査の実際の適応（可能であれば症例データを提示して解説）　尿検査実技復習
7回目	糞便検査・尿検査についての総復習
8回目	皮膚科検査：皮膚科診療の流れ　皮膚科検査（掻爬検査、抜毛検査、押捺検査、耳垢検査）の目的・手法
9回目	皮膚科検査：皮膚科検査（ウッド灯検査、真菌培養、細菌培養同定、アレルギー検査、内分泌検査、画像検査、生検検査）の目的・手法
10回目	糞便検査、尿検査、皮膚検査で使用する検体を採取し、一般検査および評価を実施
11回目	糞便検査、尿検査、皮膚検査で使用する検体を採取し、一般検査および評価を実施
12回目	総復習
13回目	総復習
14回目	前期評価試験および振り返り
15回目	評価試験解説　採血手技の確認
準備学習 時間外学習	動物の体の仕組み（ 解剖学 、生理学 ）、動物の病気について理解が必要。
評価方法	筆記試験（90%）、授業への積極性（10%） ※評価は動物臨床検査学実習とあわせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第5巻（緑書房）
動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物臨床検査学実習 （Veterinary Clinical Laboratory Practice）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保田　友美
		授業形態	実習	総時間 （単位）	30 （１）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日2時限or金曜日4時限

【授業の学習内容】

動物病院で行われる検体検査(糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、微生物学的検査、病理検査、遺伝子検査)についての理解を深めるため、
検査の原理や方法・意義について学び、採材から結果の評価までを実技を交え学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師。福岡市内の動物病院勤務。

【到達目標】

糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、微生物学的検査、病理検査、遺伝子検査の目的と意義を説明できる。
動物から採取した検体を検査内容に合わせて処理し、適切な手順で検査を行うことができる。

授業計画・内容	
1回目	血液検査：　血液検査の意義および手技の理解　　ヘマトクリット管を用いた検査、血液塗抹の作製
2回目	血液検査：　自動血球計算機によるCBCの評価　　血液塗抹における血球の形態観察および分類
3回目	血液検査：　白血球百分比
4回目	血液検査：　白血球百分比の結果を出し、病態を評価
5回目	血液検査：　貧血の分類　　網状赤血球と再生性貧血/非再生性貧血
6回目	血液検査：　血液生化学的検査の各項目の意義　　結果からの病態評価
7回目	血液検査復習
8回目	微生物学的検査：　病原性微生物の分類　　細菌培養
9回目	微生物学的検査：　グラム染色　　抗生剤感受性検査
10回目	血液検査復習
11回目	病理検査：　細胞診の適応および手技　　腫瘍性病変/炎症性病変/その他の特徴　　腟スメアを用いた交配適期の判定
12回目	遺伝子検査：　遺伝子検査の目的と意義
13回目	総復習
14回目	後期評価試験および振り返り
15回目	評価試験解説　　実習の総括
準備学習 時間外学習	動物の体の仕組み（ 解剖学 、生理学 ）、動物の病気について理解が必要。
評価方法	筆記試験（90%）、授業への積極性（10%） ※評価は動物臨床検査学とあわせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第5巻（緑書房）
動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物臨床検査学実習 （Veterinary Clinical Laboratory Practice）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前田　暁子
		授業形態	実習	総時間 （単位）	30 （１）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日2時限or水曜日4時限

【授業の学習内容】

動物病院で行われる検体検査(糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、病理検査、遺伝子検査)についての理解を深めるため、
検査の原理や方法・意義について学び、採材から結果の評価までを実技を交え学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師。福岡市内の動物病院勤務。

【到達目標】

糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、病理検査、遺伝子検査の目的と意義を説明できる。
動物から採取した検体を検査内容に合わせて処理し、適切な手順で検査を行うことができる。

授業計画・内容	
1回目	臨床検査での動物看護師の役割について　顕微鏡の使用方法
2回目	糞便検査：一般性状の評価項目　採便方法による違い　直接法・浮遊法の目的　直接法鏡検
3回目	糞便検査：消化器症状を引き起こす病原体　浮遊法実施　抗原検査
4回目	尿検査：各採尿方法の特徴　尿比重・尿蛋白の測定　尿検査試験紙および顕微鏡検査
5回目	尿検査：尿沈渣検体の顕微鏡での評価（病原体、結石、尿円柱など）
6回目	尿検査：尿検査の実際の適応（可能であれば症例データを提示して解説）　尿検査実技復習
7回目	糞便検査・尿検査についての総復習
8回目	皮膚科検査：皮膚科診療の流れ　皮膚科検査（掻爬検査、抜毛検査、押捺検査、耳垢検査）の目的・手法
9回目	皮膚科検査：皮膚科検査（ウッド灯検査、真菌培養、細菌培養同定、アレルギー検査、内分泌検査、画像検査、生検検査）の目的・手法
10回目	糞便検査、尿検査、皮膚検査で使用する検体を採取し、一般検査および評価を実施
11回目	糞便検査、尿検査、皮膚検査で使用する検体を採取し、一般検査および評価を実施
12回目	総復習
13回目	総復習
14回目	前期評価試験および振り返り
15回目	評価試験解説　採血手技の確認
準備学習 時間外学習	実施内容に該当するテキストページを授業までに熟読し、質問を考えておくこと。
評価方法	期末試験 70% 平常点（出席・授業態度）30% ※評価は動物臨床検査学とあわせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第4巻（緑書房）
動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物臨床検査学実習 （Veterinary Clinical Laboratory Practice）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前田　暁子
		授業形態	実習	総時間 （単位）	30 （１）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日2時限or水曜日4時限

【授業の学習内容】

動物病院で行われる検体検査(糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、微生物学的検査、病理検査、遺伝子検査)についての理解を深めるため、
検査の原理や方法・意義について学び、採材から結果の評価までを実技を交え学ぶ。

※担当教員実務経験：獣医師。福岡市内の動物病院勤務。

【到達目標】

糞便検査、尿検査、皮膚科検査、血液検査、微生物学的検査、病理検査、遺伝子検査の目的と意義を説明できる。
動物から採取した検体を検査内容に合わせて処理し、適切な手順で検査を行うことができる。

授業計画・内容	
1回目	血液検査：　血液検査の意義および手技の理解　　ヘマトクリット管を用いた検査、血液塗抹の作製
2回目	血液検査：　自動血球計算機によるCBCの評価　　血液塗抹における血球の形態観察および分類
3回目	血液検査：　白血球百分比
4回目	血液検査：　白血球百分比の結果を出し、病態を評価
5回目	血液検査：　貧血の分類　　網状赤血球と再生性貧血/非再生性貧血
6回目	血液検査：　血液生化学的検査の各項目の意義　　結果からの病態評価
7回目	血液検査復習
8回目	微生物学的検査：　病原性微生物の分類　　細菌培養
9回目	微生物学的検査：　グラム染色　　抗生剤感受性検査
10回目	血液検査復習
11回目	病理検査：　細胞診の適応および手技　　腫瘍性病変/炎症性病変/その他の特徴　　腟スメアを用いた交配適期の判定
12回目	遺伝子検査：　遺伝子検査の目的と意義
13回目	総復習
14回目	後期評価試験および振り返り
15回目	評価試験解説　　実習の総括
準備学習 時間外学習	実施内容に該当するテキストページを授業までに熟読し、質問を考えておくこと。
評価方法	期末試験 70% 平常点（出席・授業態度）30% ※評価は動物臨床検査学とあわせて実施

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第4巻（緑書房）
動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	動物看護総合実習 （General Clinical Practice for Veterinary Nurses）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	実習	総時間 （単位）	90 （３）	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

臨床研修を通じ、授業で学んだ内容の習熟度を主観的・客観的に評価し、より実践的な知識・技術としていく。

※担当教員実務経験：動物病院にて実務に従事している講師が授業を担当。

【到達目標】

臨床研修に臨むための書類作成ができる。
適切に研修日誌を作成できる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	臨床研修
3回目	臨床研修
4回目	臨床研修
5回目	臨床研修
6回目	臨床研修
7回目	臨床研修
8回目	臨床研修
9回目	臨床研修
10回目	臨床研修
11回目	臨床研修
12回目	臨床研修
13回目	臨床研修
14回目	臨床研修
15回目	臨床研修
準備学習 時間外学習	各授業で学んだ内容を事前に復習。 研修先の情報を収集する。 日々の研修内容をノートにまとめる。
評価方法	研修日誌の提出をもって単位認定する。

【使用教科書・教材・参考書】

業界研修ノート
学生便覧

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	キャリアプランニング （ Career planning ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	森若　賢子/塩田　里美
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日2時限or金曜日1時限

【授業の学習内容】

キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、実践できるようになる。
（学校行事との兼ね合いで授業内容の順序は適宜変更の可能性がある。）

※担当教員
森若賢子：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務後、動物看護師育成に携わる。
塩田里美：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務。その後動物実験施設に従事。動物看護師育成に携わる。

【到達目標】

・卒業までの全体的なキャリアプランを説明できる。
・目的を達成するために他者と協力することができる。
・目指す業界の特徴を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション：　今年度のキャリアプランニングを理解する
2回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
3回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
4回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
5回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
6回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
7回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
8回目	コミュニケーションワークショップ：ワークショップを通し、リーダーシップ・フォロワーシップを理解する
9回目	臨床実習ガイダンス
10回目	臨床実習ガイダンス
11回目	臨床実習ガイダンス
12回目	臨床実習ガイダンス
13回目	前期試験に向けて：　試験規定・進級に必要な単位数等を正確に理解する
14回目	前期末試験：　前期に取り組んだ内容の習熟度を振り返る
15回目	後期に向けて：　後期授業について理解する
準備学習 時間外学習	授業内で提示された課題に取り組み、期日までに提出すること。
評価方法	・出席状況（60%） ※100%出席を60点とし、1回欠席ごとに5点減点 ・提出物（40%） ※40点満点とし、提出状況・丁寧さで総合的に評価

【使用教科書・教材・参考書】

授業内容に該当するプリントまたはデータを随時配布

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	キャリアプランニング （ Career planning ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	森若　賢子/塩田　里美
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日4時限or金曜日1時限

【授業の学習内容】

キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、実践できるようになる。
（学校行事との兼ね合いで授業内容の順序は適宜変更の可能性がある。）

※担当教員
森若賢子：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務後、動物看護師育成に携わる。
塩田里美：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務。その後動物実験施設に従事。動物看護師育成に携わる。

【到達目標】

・卒業までの全体的なキャリアプランを説明できる。
・目的を達成するために他者と協力することができる。
・目指す業界の特徴を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	就職活動に向けての準備：今後のインターンシップスケジュールおよび準備について理解する
2回目	就職活動に向けての準備：今後のインターンシップスケジュールおよび準備について理解する
3回目	就職活動に向けての準備：今後のインターンシップスケジュールおよび準備について理解する
4回目	就職活動に向けての準備：今後のインターンシップスケジュールおよび準備について理解する
5回目	就職活動に向けての準備：今後のインターンシップスケジュールおよび準備について理解する
6回目	就職活動に向けての準備：今後のインターンシップスケジュールおよび準備について理解する
7回目	就職活動に向けての準備：今後のインターンシップスケジュールおよび準備について理解する
8回目	就職活動に向けての準備：今後のインターンシップスケジュールおよび準備について理解する
9回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
10回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
11回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
12回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
13回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
14回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
15回目	進級制作：　進級制作で取り組む内容を検討する
準備学習 時間外学習	授業内で提示された課題に取り組み、期日までに提出すること。
評価方法	・出席状況（60%） ※100%出席を60点とし、1回欠席ごとに5点減点 ・提出物（40%） ※40点満点とし、提出状況・丁寧さで総合的に評価

【使用教科書・教材・参考書】

授業内容に該当するプリントまたはデータを随時配布

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	ホスピタリティ（hospitality）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3時限or木曜日3時限

【授業の学習内容】

日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティ・マインドを学ぶ。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指す。

※担当教員実務経験：藤田観光株式会社ワシントンホテル　宿泊部フロント課勤務。
2017年3月　日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。

【到達目標】

①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得する。
②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：講義の説明　感動を与えるホスピタリティ（京王プラザホテルのホスピタリティ動画視聴）
2回目	サービスとホスピタリティの違いと語源　日本のおもてなし文化
3回目	5つ星ホテルで働くコンシェルジュの最上級のおもてなし、顧客目線に立つことの理解
4回目	ホスピタリティの実践①　笑顔の作り方、身だしなみ、立ち居振る舞いを身につける
5回目	ホスピタリティの実践②　話し方、効果的な傾聴、言葉遣いなど対応力を磨く
6回目	顧客ロイヤルティとホスピタリティの関係性
7回目	組織と社員（従業員）のホスピタリティ、「ゴールデンサークル理論」から学ぶリーダーシップ
8回目	ご高齢や障がいのある方への対応と気遣い
9回目	異文化コミュニケーション　「やさしい日本語」を使ったコミュニケーションを理解し異文化適応力を身につける
10回目	クレームが起きる原因とお客様心理を理解し対応力を身につける
11回目	★レポート提出日　　ホスピタリティ産業に求められるQSCを理解する
12回目	ハラスメントやコンプライアンスについて正しく理解する
13回目	SDGsについて理解する
14回目	クループディスカッション　：「新しいテーマパークを作ろう」
15回目	前期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身についてくる。 また、ホスピタリティに関する書籍を自ら進んで読むことや感動体験を積むなど、感性を磨く。 授業前後での予習と復習を必ず行うこと（ホスピタリティ・コーディネータ教本の熟読）。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」（2,000字以上/Word作成）・・・・締め切り厳守。 ※資格認定と授業評価に必要なレポートですので、必ず提出してください。 ※レポート作成にあたって、書き方やWordの書式など細かいルールがあります。講義の中で丁寧に説明しますのでルールは必ず守ってください。

【使用教科書・教材・参考書】

【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書/林田正光　著

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ホスピタリティ （hospitality）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3時限or木曜日3時限

【授業の学習内容】

日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、前期に習得したことを踏まえ、ビジネスシーンで柔軟に対応できる思考と動きプラス、ホスピタリティ・マインドを実践形式で理解を深めていき、「わかる」から「できる」ようになる。

※担当教員実務経験：藤田観光株式会社ワシントンホテル　宿泊部フロント課勤務。
2017年3月　日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。

【到達目標】

ワンランク上のホスピタリティ・マインドを習得し、現場の即戦力になる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：講義の説明　前期講義を振り返り、ホスピタリティの本質を理解する
2回目	ホスピタリティの実践に必要な3つのステップ
3回目	笑顔トレーニング
4回目	ホスピタリティを実践している人・企業①
5回目	ホスピタリティを実践している人・企業②
6回目	感動品質のサービス①　顧客満足度向上
7回目	感動品質のサービス②　サービスのプロフェッショナル
8回目	感動品質のサービス③　会話をする力をつける
9回目	様々なクレームを想定し、ホスピタリティ・マインドを発揮する（グループワーク）①
10回目	様々なクレームを想定し、ホスピタリティ・マインドを発揮する（グループワーク）②
11回目	日本の贈り物のマナー
12回目	心をつかむ手紙の書き方
13回目	ホスピタリティ・マインドの育て方
14回目	評価週
15回目	後期講義のまとめ　社会人に向けて実践していくこと
準備学習 時間外学習	インプット（知識の習得）からアウトプット（考えて実践）へ。 求められているスキルが変化しているので、「自分を変えるチャンス」だと思って常に高い意識を持つこと。
評価方法	筆記試験・・・100％

【使用教科書・教材・参考書】

【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本／日本ホスピタリティ推進協会
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書／林田正光　著
グローバル人材ビジネス実務検定テキスト／一般財団法人グローバル人材キャリア支援協会

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	進級課題 (Level Advancement Study)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	森若　賢子/塩田　里美
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。

【到達目標】

学習成果（知識・技術）をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。

授業計画・内容	
1回目	進級課題とは①　～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは②　～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方　～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定　～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習①　～自分（班）のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習②　～途中経過の報告～
7回目	実践学習③　～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備①　～パワーポイント作成～
9回目	発表準備②　～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③　～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④　～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤　～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り　～各自（班内）で意見交換、発表～
準備学習 時間外学習	各自（各班）で意見交換を随時行う。 また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。
評価方法	・発表内容：80% ・課題への参加度：20%

【使用教科書・教材・参考書】

専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	業界研修	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
	（ Business internship ）	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業		（6）	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。

※担当教員実務経験：研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。
・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。
・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。
・自らの「キャリア」をデザインできる。

授業計画・内容	
1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会
準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出(80%) ・インターンシップ先企業からの評価表（20%） これらを総合的に判断して評価

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別講義＆見学 （Special Lecture）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

・動物業界で必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
・動物業界で必要な人間力を理解し、身に付ける。
・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授業計画・内容	
1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	イベント運営 （Event Management）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各イベント実務従事者
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・企画立案、運営ができるようになる。
・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
・接客を知り、実践できるようになる。
・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
・予算管理を実践し習得する。
・スケジューリングを理解し、実践できる。

授業計画・内容	
1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備（50%） ・レポート(50%)

【使用教科書・教材・参考書】

過去のイベント資料

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別課外活動 （Club Activities）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学友会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。

【到達目標】

・チームワークを身に付ける。
・計画性を身に付ける。
・予算管理を身に付ける。
・マネジメントを理解し身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ボランティア活動 （Volunteer Work）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。

※担当教員：各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。
・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去のボランティア活動報告書

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	資格取得講座 （Seminar for a Qualification）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	森若　賢子/塩田　里美
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。

※担当教員
森若賢子：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務後、動物看護師育成に携わる。
塩田里美：愛玩動物看護師。動物看護師として動物病院に勤務。その後動物実験施設に従事。動物看護師育成に携わる。

【到達目標】

・各検定試験、資格試験の合格

授業計画・内容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去の各検定、資格教本